



長野県信濃美術館

平成26年度 館報 17

目次

はじめに 5

1 美術館概要

- (1) 特徴 6
- (2) 沿革 7
- (3) 施設概要 8
- (4) 長野県信濃美術館条例 10
- (5) 長野県信濃美術館規則 12
- (6) 歴代館長 13
- (7) 平成26年度美術館協議会委員 14

2 展覧会概要

- (1) 長野県信濃美術館主催展覧会 15
- (2) 移動展 15
- (3) 美術団体による展覧会（貸館） 15

3 各展覧会の記録

- (1) 企画展 16
- (2) コレクション展 36
- (3) ミニ企画展 44
- (4) 東山魁夷館・常設展 47
- (5) 移動展 59

4 教育普及事業

- (1) おもしろ美術講座・講演会 61
- (2) おでかけ美術館講座 61
- (3) やねうら美術館講座 62
- (4) 展覧会関連 62
- (5) 学校との連携事業 62
- (6) 博物館実習等研修受入 63
- (7) 造形教育作品等の貸出 64
- (8) ギャラリーコンサート 64

5 収蔵作品貸出 65

6 その他

- (1) 新収蔵作品 70
- (2) 美術館協議会 70
- (3) モニター会議 70
- (4) 利用案内 71

はじめに

長野県信濃美術館は、平成26年度の事業実施概況を作成し、第17号の官報として刊行する運びとなりました。本年度は、第3期指定管理期間の初年度に当たります。ここに、今日までの皆様からの温かいご支援、ご協力に対しまして、改めまして深く感謝とお礼を申し上げます。これからも多くの方々に親しめる、魅力ある質の高い事業を展開して美術館の社会的使命を果たしていく所存です。

当館の社会的使命は、「美術を中心とした文化芸術に接する機会を、県民をはじめとする多くの利用者が平等に享受できるように提供し、人々の豊かで文化的な生活と、創造性あふれる人づくりに貢献すること」です。この使命を果たすために次の5つの基本方針、・多様なアートとの出会い、・豊かな心の醸成・生きる喜びの実現、・地域社会との協働、・情報の収集と発信、・文化資源の活用を基に事業を進めることにしました。

この方針を定めるために24年度から学芸課職員をはじめ関係職員による会合の場を設けて検討して参りました。本年度までのプロセスにおいて、県は「県民文化部」を新設し、アンテナショップ銀座 NAGANO がオープンしました。また、当館の職員の入れ替わりもあり変化の多い年になりましたが、全員が心新たに各種事業に取り組んできました。中でも今後5か年間の事業の特色の一つである地域や学校等との連携、協働による活動を初年度から積極的に展開しました。善光寺門前研究プロジェクトをスタートさせ、ながの観光コンベンションビューローやウエルカム長野実行委員会、長野駅ビル MIDORI 等との繋がりを深めて当館の役割や機能をさらに生かす第一歩になった年でした。同時に、県内外の美術館との連携による展覧会事業、信州大学との連携に関する覚書によるコラボ展、信州「山の日」の制定を記念した風景画展と信濃教育会所蔵の子どもが描いた信州の山の絵の特別展示等、展覧会においても外に向かう企画が目立ちました。企画展の柱立てを変えてだけでなく常設展や収蔵品展、移動展ともに工夫があり、他の事業も含めて職員の奮闘ぶりが際立ちました。今はただ愚直に進めるのみではありますが、皆さまからの忌憚のない厳しいご意見、ご指導をいただければ幸いです。

平成27年3月

長野県信濃美術館
館長 橋本 光明

特徴

長野県信濃美術館

長野県信濃美術館は、善光寺に隣接する城山公園内に、「長野県に美術館をたてよう」という県民の声を受けて昭和41年に財団法人として発足し、同44年に県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館として活動しています。郷土作家の作品、美しい自然に恵まれた信州の風景画を中心とした収蔵品の公開と、年に4回程の企画展を開催、また、美術団体などに作品発表の場も提供しています。

■長野県信濃美術館 企画展 4つの柱

長野県信濃美術館では、収蔵品展の他に、以下の4つの柱に基づく企画展を開催し、様々な芸術や文化と出合う機会を提供します。

1. 長野県ゆかりの作家や文化を紹介する「学ぶよろこび(信州の美術)」

県出身作家や地域文化の顕彰は、県立美術館の欠かせない活動です。県出身作家や地域文化を地道に調査し、顕彰する展覧会を行っていきます。

2. 国内、世界の作品を紹介する「好奇心を刺激する(多様な美術)」

多くの人に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供するという、県立美術館としての責務を果たす展覧会を行っていきます。

3. 美術になじみのない県民に対し、参加体験をとおして、美術を楽しむ心を醸成する「美術との出会い(楽しむ心づくり)」

子どもの頃に美術館で楽しい体験をしてこなかった人は、大人になってもなかなか美術館に足を運ぶことはありません。美術鑑賞を将来楽しむ人々を育てるために、子どもたちが楽しみながら美術に親しめる展覧会を行います。

4. 深い精神性を表現した作品を紹介する「心のやすらぎ(いのりの美術)」

生きる歓びとともに命の儚さに対する悲しみ、なぐさめも、多くの美術によって表現されています。深い精神性を湛える美術作品をとおして、心のやすらぎを感じられる企画展を開催します。

東山魁夷館

東山魁夷(ひがしやまかい)館は、長野県が日本画家・東山魁夷(1908-1999)から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成2年4月に開館しました。収蔵作品数は現在、960点余に及びます。およそ2カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいております。

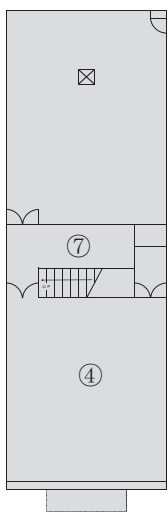
沿革

昭和40年 3 月23日	財団法人信濃美術館設立
昭和41年 5 月28日	財団法人信濃美術館新築工事完成 (建設費：1億円)
昭和41年10月 1 日	信濃美術館開館 (敷地面積：7,946平方メートル 延床面積：1,826平方メートル)
昭和44年 6 月 1 日	同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日	昭和45年 5 月着工の第二展示棟増築工事完成 (延床面積：654平方メートル) (建設費：6500万円)
昭和49年 3 月29日	昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成 (延床面積：333平方メートル) (建設費：5192万円)
昭和54年 7 月12日	長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年 4 月 1 日	管理運営を財団法人長野県文化振興事業団に委託
昭和62年 9 月22日	東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日	東山魁夷館の基本構想発表
平成元年12月25日	平成元年 8 月着工の信濃美術館改修工事完成
平成 2 年 4 月26日	東山魁夷館開館 (着工：昭和62年12月 完成：平成2年2月 敷地面積：4,675平方メートル 延床面積：1,698平方メートル) (建設費：11億円)
平成11年 7 月15日	東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年 3 月31日	東山魁夷館側駐車場増設工事完成 (40台から90台へ)
平成18年 4 月 1 日	財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成21年3月31日)
平成20年 7 月17日	東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年 4 月 1 日	財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成26年3月31日)
平成25年 4 月 1 日	公益法人制度改革に伴い一般財団法人へ移行
平成26年 4 月 1 日	一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託 (～平成31年3月31日)

施設概要

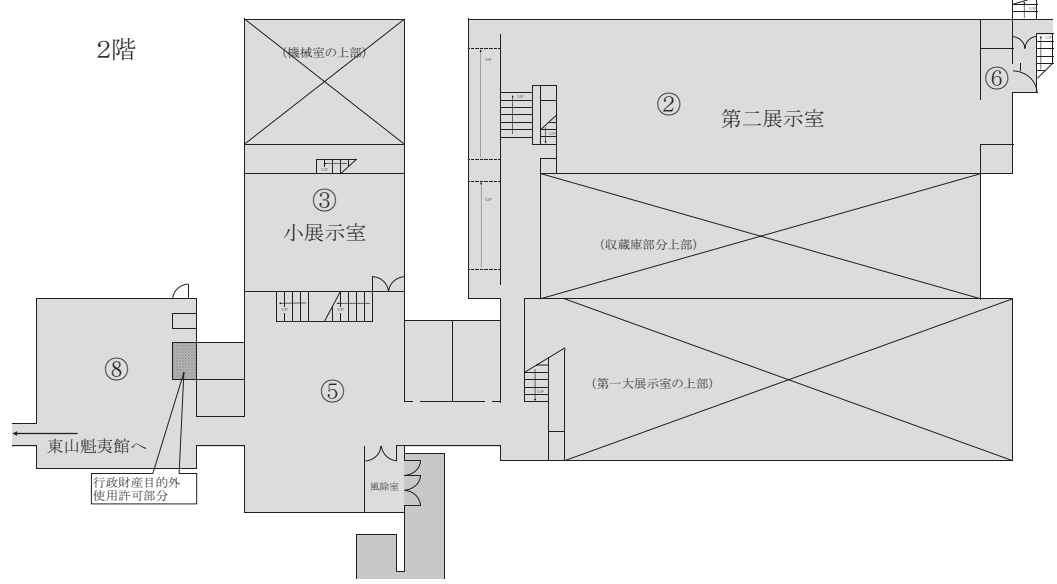
長野県信濃美術館（本館）

3階

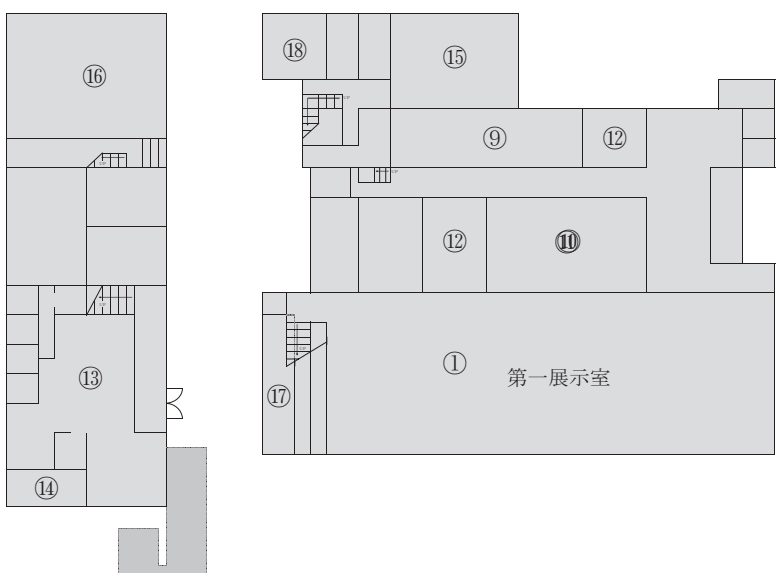


NO	室名	面積 (㎡)	小計
①	第一展示室 (大展示室)	403.20	1,065.60
②	第二展示室 (大展示室)	374.40	
③	小展示室	115.20	
④	講堂	172.80	
⑤	受付・ロビー	156.00	361.72
⑥	受付・ロビー (第二大展示室用)	30.72	
⑦	受付・ロビー (講堂用)	41.04	
⑧	カフェ (厨房含む。)	133.96	
⑨	収蔵庫 1	84.00	566.12
⑩	収蔵庫 2	33.60	
⑪	収蔵庫 3	69.12	
⑫	収蔵庫前室 (2箇所)	57.00	
	その他 (収蔵庫機械室、荷解室等)	322.40	
⑬	事務室	106.56	198.24
⑭	打合せ室	20.16	
⑮	会議室	71.52	
⑯	機械室	115.20	168.48
⑰	機械室 (第一大展示室)	28.80	
⑱	機械室 (第二大展示室)	24.48	
その他	トイレ、倉庫、廊下 等	736.22	736.22
合計		3,096.38	3,096.38

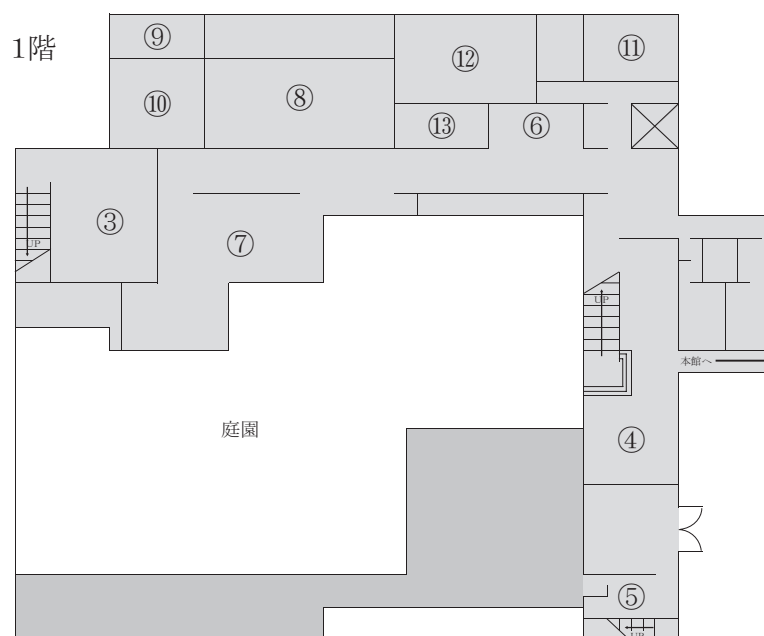
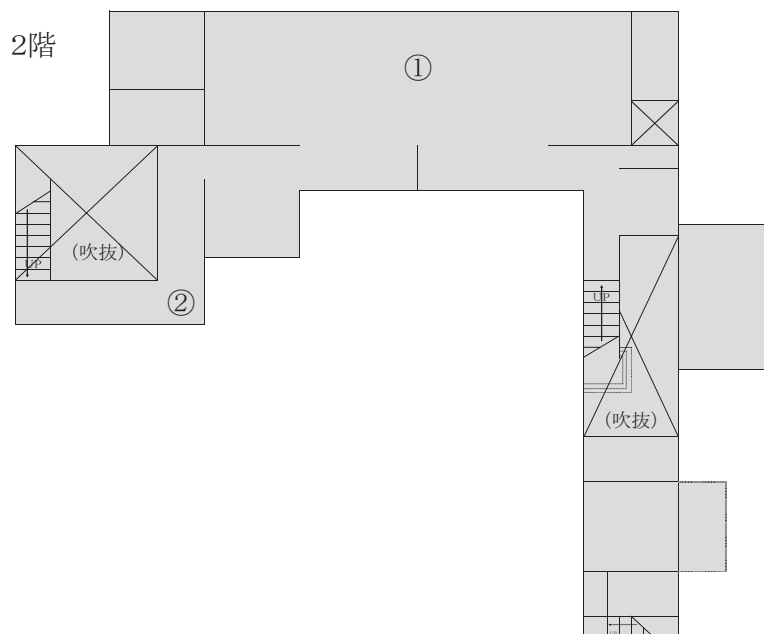
2階



1階



長野県信濃美術館（東山魁夷館）



NO	室名	面積 (㎡)	小計
展示	① 展示室	385.21	544.21
	② 二階展示ギャラリー	79.34	
	③ 一階展示ギャラリー	79.66	
サービス	④ エントランスロビー (受付含む)	108.32	237.36
	⑤ コインロッカー室	21.38	
	⑥ ミュージアムショップ	32.55	
	⑦ ラウンジ	75.11	
収蔵	⑧ 第1収蔵庫	87.33	152.09
	⑨ 第2収蔵庫	23.80	
	⑩ 収蔵庫前室	40.96	
事務学芸	⑪ 館長室	31.68	145.05
	⑫ 研究室1	61.44	
	⑬ 研究室2	21.12	
	その他 (更衣室、給湯室 等)	30.81	
機械	機械室 (1階及び2階、6箇所)	172.14	190.06
	電気室	17.92	
その他	トイレ、倉庫、廊下 等	429.20	429.20
合 計		1,697.97	1,697.97

長野県信濃美術館条例

(昭和44年3月31日 条例 第32号)

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 美術に関する資料を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するため、長野県信濃美術館(以下「美術館」という。)を長野市に設置する。

(職員)

第3条 美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(協議会)

第4条 美術館に、博物館法第20条の規定による美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が任命する。

3 協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(利用の許可)

第5条 美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者(地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)の許可を受けなければならない。

全部改正[昭和55年条例23号]、一部改正[平成17年条例59号]

(指定管理者による管理)

第6条 美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。

(指定管理者の指定)

第7条 指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。

(指定の申請)

第8条 前条の申請は、教育委員会が定める日までに、教育委員会規則で定めるところにより、申請書に事業計画書(職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。)その他教育委員会規

則で定める書類を添付して行うものとする。

(候補者の選定の基準)

第9条 第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、かつ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (2) 一般住民の平等な利用が確保されること。
- (3) 事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。
- (4) 指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。
- (5) 県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。
- (6) 地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。

(指定の告示)

第10条 教教育委員会は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。

追加[平成17年条例59号]、一部改正[平成20年条例17号]

(業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 美術作品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術作品に関し必要な説明を行うこと。
- (2) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 美術館の利用の許可に関する業務
- (4) 美術館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)に関する業務
- (5) 博物館法第3条第1項第4号から第10号までに掲げる事業に関する業務
- (6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務

(管理の基準)

第12条 指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 美術館の休館日について、水曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)

に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、木曜日)、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (2) 美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。
- (3) 美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示資料等を汚損した場合その他の教育委員会規則で定める場合に行うことができるものとする。
- (4) 美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。
- (5) この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。
- (6) 指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で教育委員会が定めるもの

(協定の締結)

第13条 教育委員会及び指定管理者は、次に掲げる事項について、協定を締結するものとする。

- (1) 地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項

- (2) 利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に關し必要な事項

(利用料金の納付等)

第14条 美術館の展示資料を観覧する者又は展覧会等の開催のため美術館の展示施設を利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

(利用料金の減免)

第15条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。

(1) 国又は地方公共団体が、教育、学術及び文化の向上を図るため、展覧会、講演会、研修会その他これらに類するものに利用するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和44年6月1日から施行する。
- 2 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(別表)(第14条関係)

区 分		単 位	金 額
展示資料を観覧する場合	常設に係る展示資料を観覧する場合	1回について	500円
	特別企画に係る展示資料を観覧する場合	〃	1,400円
展示施設を利用する場合	入場料を徴収して利用する場合	大展示室	1室1日について 24,000円
		小展示室	〃 12,000円
	入場料を徴収しないで利用する場合	大展示室	〃 14,000円
		小展示室	〃 7,000円

長野県信濃美術館規則

(昭和44年5月19日 教育委員会規則第6号)

(趣旨)

第1条 この規則は、長野県信濃美術館条例(昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。)第16条の規定により、長野県信濃美術館(以下「美術館」という。)の管理等及び美術館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会)

第2条 条例第4条の規定による協議会は、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が召集する。

2 協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて召集する。

3 協議会に幹事2名を置き、幹事は教育委員会が指名する。

(利用の許可等)

第3条 美術館の展示施設を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、次に掲げる事項を記載した申請書を条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者(以下「指定管理者」という。)に提出して申請しなければならない。

(1) 利用目的

(2) 利用する展示施設の名称

(3) 利用期間

(4) 入場料を徴収する場合にあつては、その旨

(5) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項

2 美術館の展示資料を観覧する者は、条例第5条の規定により許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。

3 指定管理者は、第1項の申請に対し展示施設の利用を許可したときはその利用許可書を、第2項の申請に対し展示資料の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。

(利用取消届)

第4条 前条第3項の規定による利用許可書の交付を受けた者が、展示施設の利用の申請の取消しをしようとするときは、当該利用開始日前7日までに、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。

(遵守事項)

第5条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示施設、展示資料等をき損し、又は汚損しないこと。

(2) 美術館内においては、静粛にし、他人に迷惑を

かけないこと。

(3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。

(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が教育委員会の承認を得て定める事項

(利用後の処理と損害の賠償)

第6条 利用者は、利用を終わったときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。

2 利用者は、展示施設、展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(指定の申請)

第7条 条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書(別記様式)によるものとする。

2 条例第8条の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの(以下この項において「申請者」という。)について教育委員会がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。

(1) 定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの

(2) 申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請書の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの

(3) 申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類

(4) 役員の名簿及び履歴書

(5) 申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類

(6) 申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書

(7) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

(利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合)

第8条 条例第12条第3号の教育委員会規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。

(補則)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、昭和44年6月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

様 式(省略)

歴代館長

山 田 邦 夫	昭和41年10月1日～昭和44年5月31日	※財団法人 信濃美術館
西 沢 千 秋	昭和44年6月1日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮 沢 寿	昭和46年12月1日～昭和47年11月30日	
藤 森 治 幸	昭和47年12月1日～昭和53年3月31日	
鵜 野 孝	昭和53年4月1日～昭和57年1月31日	
大 友 博 幸	昭和57年2月1日～昭和57年3月31日	教育次長兼
竹 本 春 男	昭和57年4月1日～昭和58年3月31日	
佐 藤 義 人	昭和58年4月1日～昭和59年3月31日	
伊 藤 万寿雄	昭和59年4月1日～昭和60年3月31日	
三 沢 国 臣	昭和60年4月1日～昭和61年3月31日	
山 本 正 男	昭和61年4月1日～平成14年3月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松 本 猛	平成14年4月1日～平成22年4月30日	
橋 本 光 明	平成23年4月8日～現在に至る	

平成26年度長野県信濃美術館協議会委員

石 川 利 江	有限会社 ISHIKAWA・地域文化企画室代表
内 田 道 樹	善光寺寺務総長
小根山 克 雄	信越放送株式会社代表取締役社長
小 野 文 子	信州大学教育学部准教授
草 薙 奈津子	平塚市美術館館長
小 坂 壮太郎	信濃毎日新聞社代表取締役社長
小 山 利枝子	画家
高 松 和 子	認定こども園 慈光幼稚園園長
西 澤 剛	長野県美術教育研究会会長（長野市立三本柳小学校校長）
牧 光 央	長野県公民館運営協議会副会長（須坂市中央公民館館長）

展覧会概要

(1) 長野県信濃美術館主催展覧会

長野県信濃美術館（本館）

展 覧 会 名		会 期	日数	入 場 者 数					
				有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
①企画展	放浪の天才画家 山下清展	4/12～6/1	45	18,632	934	2,107	602	2,688	24,963
	夏休み特別企画 日本画(ニホンガ)っておもしろい!～ニホンガ研究会～ 信州大学×長野県信濃美術館コラボ展	7/12～8/24	39	3,468	720	952	801	501	6,442
	特別展 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから	10/4～12/7	56	6,218	503	1,444	1,429	1,517	11,111
	生誕百年 高橋節郎展	12/13～2015年1/12	23	1,267	634	131	35	186	2,253
②コレクション展	没後70年 池上秀畝・島崎鶏二	6/7～7/6	26	1,640	62	64	214	239	2,219
	一水会の画家たちと信濃美術館コレクション	9/11～9/23	12	889	14	75	42	157	1,177
	美術館でおしゃべりしよっ! 2014 —絵をみて話そう みんなで話そう—								
③ミニ企画展	涼みの工芸	8/31～9/23	19	4,183	29	111	42	231	4,596
	信美スタッフおすすめ作品展	2015年1/17～1/25 1/31～2/3 2/5～2/17	24	1,752	102	112	212	99	2,277
	新収蔵作品展	2/22～3/21	24	1,900	54	67	33	110	2,164
計			280	39,949	3,052	5,063	3,410	5,728	57,202

東山魁夷館

展 覧 会 名		会 期	日数	入 場 者 数					
				有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
常設展	I期 緑の樫の木	4/3～5/27	49	9,941	265	1,732	459	2,425	14,822
	II期 黒い空	5/29～7/29	52	8,073	272	598	1,023	782	10,748
	III期 青いライン	7/31～10/7	61	14,923	659	1,127	352	799	17,860
	IV期 茶色の落葉	10/9～12/2	48	9,847	186	1,203	1,398	1,234	13,868
	V期 白い聖夜	12/4～2015年2/3	50	3,281	702	331	74	446	4,834
	VI期 灰色の霧 ※3/22現在	2/5～3/31	48	3,545	115	144	255	197	4,256
計			308	49,610	2,199	5,135	3,561	5,883	66,388

(2) 長野県信濃美術館移動展

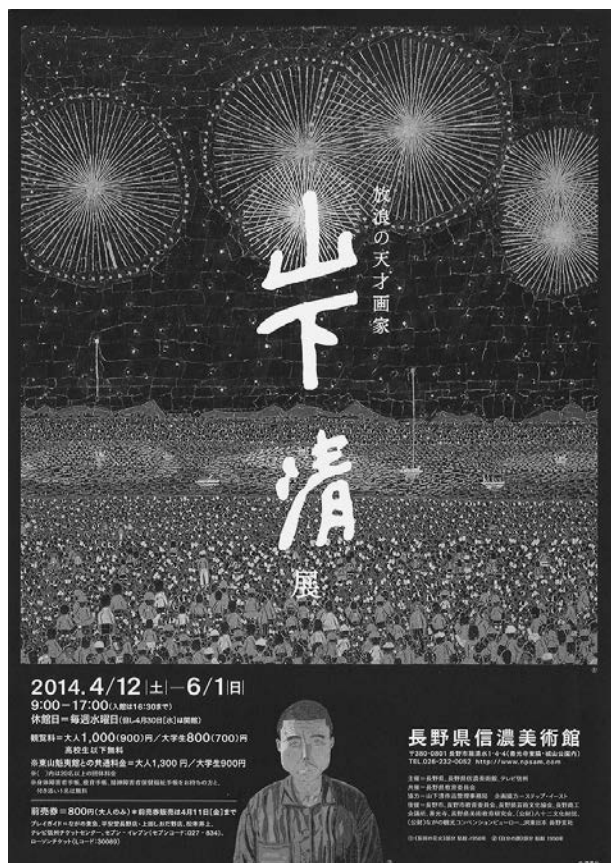
展 覧 会 名		会 期	日数	入 場 者 数					
				有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
青木村郷土美術館		10/11～10/21	11	140	99	25	0	35	299
北アルプス展望美術館(池田町立美術館)		10/25～11/3	9	203	40	21	9	20	293
計			20	343	139	46	9	55	592

(3) 貸館による展覧会

展 覧 会 名	会 期	日数	入場者数	使 用 会 場
第67回長野県書道展	8/31～9/7	7	2,900	第一、二展示室
第24回長野市風景画展	2015年1/17～1/25	8	2,066	第一、二展示室
長野県児童生徒美術展	1/31～2/3	4	2,520	第一、二展示室
日本水彩画会第57回長野県展	2/22～3/1	7	2,098	第一、二展示室
第42回日本の書展	3/3～3/8	5	1,803	第一、二展示室
第45回新構造長野県展	3/15～3/21	6	784	第一、二展示室
計		37	12,171	

放浪の天才画家

山下清展



1922(大正11)年東京・浅草に生まれ、49歳という若さでこの世を去るまで、昭和という激動の時代を駆け抜けた放浪の天才画家・山下清。本展覧会では、代表的な貼絵を中心に、油彩や水彩画、ペン画、陶磁器など、初期から晩年までの約130点の作品とともに、放浪日記や本人のコメントなども併せて紹介した。

- 会期 平成26年4月12日(土)～6月1日(日) (45日間)
- 会場 長野県信濃美術館
(第1展示室・第2展示室・小展示室)
- 主催等 (主催)長野県、長野県信濃美術館、テレビ信州
(共催)長野県教育委員会
(協力)山下清作品管理事務局
(企画協力)ステップ・イースト
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本長野支社
- 観覧料 大人1,000(900)円/大学生800(700)円/高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引券制度
- 入館者数 24,963人(有料 18,632人 無料 6,331人)
- 担当者 学芸員 高田紫帆
- イベント
- ①講演会「家族が語る山下清」/講師：山下浩氏(山下清作品管理事務所/山下清の甥)/日時：4月12日(土)13:30～15:00/場所：長野県信濃美術館3階講堂/参加人数：75人
 - ②ワークショップ「キラキラの貼絵に挑戦！善光寺平の空に花火を打ち上げよう」/案内役：当館学芸員/日時：第1回(西の空) 4月19日(土)13:30～15:00/第2回(東の空) 4月20日(日)13:30～15:00/場所：長野県信濃美術館3階講堂/参加人数：18人、22人
 - ③特別講演会「修復家が見た天才・山下清」/講師：岩井希久子氏(絵画保存修復家)/日時：5月10日(土)13:30～15:00/場所：長野県信濃美術館3階講堂/参加人数：103人
 - ④「ギャラリートーク」4月26日(土)参加人数：15人、5月17日(土)参加人数：20人、5月24日(土)参加人数：25人、5月31日(土)参加人数：30人 ※いずれも13:30～



No.	作品名	制作年	種別	大きさ(mm)
I 少年期から放浪へ				
1	あしなが蜂	1934 (昭和9) 年	貼絵	130×195
2	蝶々	1934 (昭和9) 年	貼絵	120×170
3	ほたる	1934 (昭和9) 年	貼絵	120×175
4	せみ	1934 (昭和9) 年	貼絵	135×180
5	とんぼ	1934 (昭和9) 年	貼絵	120×170
6	蝶	1934 (昭和9) 年	貼絵	135×190
7	ラジオ体操	1936 (昭和11) 年	貼絵	290×375
8	餅つき	1935 (昭和10) 年	貼絵	280×370
9	剣道	1936 (昭和11) 年	貼絵	280×365
10	柔道	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×380
11	寝る支度をしているところ	1936 (昭和11) 年	貼絵	275×365
12	身体検査	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×370
13	就寝	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×370
14	学校で活動写真を写している所	1938 (昭和13) 年	貼絵	280×365
15	ともだち	1938 (昭和13) 年	貼絵	240×330
16	農園	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×375
17	雪だるま	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×370
18	園芸作業	1939 (昭和14) 年	貼絵	585×760
19	鉢花	1937 (昭和12) 年	貼絵	290×385
20	栗	1938 (昭和13) 年	貼絵	230×320
21	ゆり	1938 (昭和13) 年	貼絵	570×750
22	桜	1939 (昭和14) 年	貼絵	235×345
23	菊	1939 (昭和14) 年	貼絵	750×570
24	菊	1940 (昭和15) 年	貼絵	750×570
25	さるすべり	1940 (昭和15) 年	貼絵	250×305
26	もくれん	1940 (昭和15) 年	貼絵	300×240
27	アキノキリンソウ	1943 (昭和18) 年	貼絵	310×250
28	金せん花	1949 (昭和24) 年	貼絵	250×350
29	観兵式	1937 (昭和12) 年	貼絵	380×585
30	軍艦	1938 (昭和13) 年	貼絵	575×760
31	高射砲	1938 (昭和13) 年	貼絵	580×760
32	鉄条網	1938 (昭和13) 年	貼絵	580×760
34	汽車道を歩いているところ	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
35	袋井で夕飯を貰っているところ	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
36	草津温泉の電車を歩いているところ	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
37	トンネルをくぐる時のこと	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	180×255
38	新しいリュックの中へ品物をしまうところ	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
39	寝る時の事	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	180×255
40	熱海の海岸の景色を見ながら歩いているところ	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
41	水に溺れた時の事	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	180×255
42	東海道線の島田で夕飯を貰いにいくところ	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
43	易者に運勢を見て貰った時の事	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	180×255
44	うすい峠	1954 (昭和29) 年	鉛筆画	145×205
45	埼玉県熊谷の花火	1955 (昭和30) 年	鉛筆画	145×205

No.	作品名	制作年	種別	大きさ(mm)
46	練兵場へ遠足	1940(昭和15)年	貼絵	585×765
47	上野不忍池	1940(昭和15)年	貼絵	580×760
48	上野の五重塔	1940(昭和15)年	貼絵	750×570
49	遠足	1950(昭和25)年	貼絵	530×760
50	長岡の花火	1950(昭和25)年	貼絵	530×750
51	桜島	1954(昭和29)年	貼絵	540×765
II 放浪期から画家へ				
52	横浜埠頭にて	1956(昭和31)年	ペン画	235×263
53	東京オリンピック	1964(昭和39)年	ペン画	385×300
54	本の挿し絵	1957(昭和32)年	ペン画	262×380
55	花の絵の下書き	制作年不詳	ペン画	242×330
56	蜂1	制作年不詳	ペン画	270×240
57	蜂2	制作年不詳	ペン画	270×240
58	蝶々	制作年不詳	ペン画	270×240
59	かたつむり	制作年不詳	ペン画	270×240
60	とんぼ	制作年不詳	ペン画	270×240
61	さかな	制作年不詳	ペン画	270×240
62	伊豆大島の風景	1954(昭和29)年	貼絵	540×760
63	二重橋	1937(昭和12)年	貼絵	370×560
64	上野の地下鉄	1937(昭和12)年	貼絵	360×560
65	庭	1937(昭和12)年	貼絵	300×390
66	田舎の風景	1937(昭和12)年	貼絵	470×620
67	上野の東照宮	1939(昭和14)年	貼絵	580×755
68	八幡様の鳥居	1939(昭和14)年	貼絵	580×760
69	神宮外苑	1950(昭和25)年	貼絵	600×800
70	金町の魚つり	1950(昭和25)年	貼絵	530×780
71	山の頂上から見た景色	1950(昭和25)年	貼絵	550×760
72	関門海峡	1956(昭和31)年	ペン画	365×400
73	阿波の鳴戸	1956(昭和31)年	ペン画	218×338
74	岩手の鹿踊り	1956(昭和31)年	ペン画	302×241
75	富士山	1957(昭和32)年	ペン画	530×375
76	はまごう	1956(昭和31)年	ペン画	265×345
77	仙台の七夕	1956(昭和31)年	ペン画	390×300
78	松島風景1	1956(昭和31)年	ペン画	279×364
79	松島風景2	1956(昭和31)年	ペン画	279×364
80	秋田の竿灯	1957(昭和32)年	ペン画	395×303
81	市川の風景	1951(昭和26)年	油彩	520×440
82	つばき	1951(昭和26)年	油彩	直径205
83	桜	1951(昭和26)年	油彩	直径205
84	ストックと矢車草	1951(昭和26)年	油彩	直径205
85	ラッパ水仙	1951(昭和26)年	油彩	直径150
86	チューリップ	1951(昭和26)年	油彩	直径205
87	お蝶夫人屋敷	1956(昭和31)年	ペン画	280×355
88	岐阜の大仏	1957(昭和32)年	ペン画	530×380
89	奈良二月堂	1957(昭和32)年	ペン画	355×430
90	養老の滝	1957(昭和32)年	ペン画	390×300

No.	作品名	制作年	種別	大きさ(mm)
91	別府のワニ	1956(昭和31)年	ペン画	265×233
92	グレート・デン	1957(昭和32)年	ペン画	335×295
93	トンネルのある風景	1956(昭和31)年	ペン画	240×240
94	与賀神社	1957(昭和32)年	ペン画	308×388
95	阿波踊り	1956(昭和31)年	ペン画	232×263
96	天狗久さんの仕事場	1956(昭和31)年	ペン画	265×233
97	小石川の後楽園	1960(昭和35)年	ペン画	240×330
Ⅲ 円熟期から晩年へ				
98	ハイデルベルクの古城	1964(昭和39)年	貼絵	440×520
99	パリのサクレクール寺院	1962(昭和37)年	貼絵	455×530
100	スイスの町	1963(昭和38)年	貼絵	460×535
101	スイス風景	1963(昭和38)年	貼絵	455×530
102	ロンドンのタワーブリッジ	1965(昭和40)年	貼絵	440×520
103	自分の顔	1950(昭和25)年	貼絵	760×530
104	ラ・ムスメ(娘)ーゴッホによる	1940(昭和15)年	貼絵	750×570
105	ぼけ	1951(昭和26)年	油彩	580×440
106	白隠禅師の墓(原)	制作年不詳	版画	270×350
107	オランダの風車	1961(昭和36)年	水彩画	540×365
108	ストックホルムの市役所	1961(昭和36)年	水彩画	760×560
109	ストックホルムの夜景	1961(昭和36)年	水彩画	540×740
110	コペンハーゲンの人魚像	1961(昭和36)年	水彩画	375×565
111	パリの凱旋門	1961(昭和36)年	ペン画	560×770
112	パリのノートルダム寺院	1961(昭和36)年	水彩画	760×560
113	パリのムーランルージュ	1961(昭和36)年	水彩画	560×380
114	パリのエッフェル塔	1961(昭和36)年	水彩画	735×540
115	ベニスのサンマルコ寺院	1961(昭和36)年	水彩画	555×760
116	ベニスのゴンドラ風景	1961(昭和36)年	水彩画	540×365
117	スイスの町	1961(昭和36)年	ペン画	545×740
118	ベニスのゴンドラ風景	1956(昭和31)年	大皿	
119	ヨーロッパの壺	制作年不詳	壺	
120	花もも(九谷焼)	1956(昭和31)年	色絵蓋物	
121	群鶏(布志名焼)	制作年不詳	ガレナ釉大皿	
122	指書き模様の皿(布志名焼)	1956(昭和31)年	大皿	
123	大文字焼風景(牛ノ戸焼)	1956(昭和31)年	鉄釉壺	
124	皇居前広場(東京)	制作年不詳	版画	270×350
125	箱根旧道(箱根)	制作年不詳	版画	350×270
126	富士(吉原)	制作年不詳	版画	270×350
127	牧の原(金谷)	制作年不詳	版画	270×350
128	弁天島(舞阪)	制作年不詳	版画	270×350
129	関所あと(新居)	制作年不詳	版画	270×350
130	汐見坂(白須賀)	制作年不詳	版画	270×350
131	さまざまな岩(二川)	制作年不詳	版画	270×350
132	豊橋の城(豊橋)	制作年不詳	版画	270×350
133	いなりさまの大將(豊川・番外)	制作年不詳	版画	350×270
134	泊まりたくなる町(御油・赤坂)	制作年不詳	版画	270×350
135	町はずれ(藤川)	制作年不詳	版画	350×270

No.	作品名	制作年	種別	大きさ(mm)
136	矢矧橋(岡崎)	制作年不詳	版画	270×350
137	八橋(知立)	制作年不詳	版画	270×350
138	熱田神宮(名古屋)	制作年不詳	版画	270×350
139	石油工場(四日市)	制作年不詳	版画	270×350
140	三条大橋(京都)	制作年不詳	版画	270×350
資料・その他				
資1-6	放浪日記 6冊	1940(昭和15)年～1943(昭和18)年	遺品	
資7	絵日記帳		遺品	
資8	放浪中、身に着けていた認識票		遺品	
資9	放浪中に使用したリュックサック		遺品	
資10	放浪中に着用した浴衣		遺品	
資11	旅先から母に宛てたハガキ		遺品	
資12	愛用の蔵書『ヴァン・ゴッホ』		遺品	
資13	愛用の蔵書『世界の名画』		遺品	
資14	パスポート		遺品	
資15	エールフランスのチケット		遺品	
資16	馬の置物		遺品	
資17	知人から貰った勲章		遺品	
資18	絶筆となったしおりのサイン	1971(昭和46)年	遺品	
資19	湯呑み茶碗		遺品	
資20	腕時計		遺品	
資21	置時計		遺品	
資22	8mmカメラ		遺品	
資23	将棋の駒		遺品	
資24	切手のスクラップブック		遺品	
資25	山下清 東海道五十三次	1971(昭和46)年	資料本	
資26	ヨーロッパぶらりぶらり(ちくま書房)		資料本	
資27	ヨーロッパを行く	1983(昭和58)年	資料本	
資28	裸の大將放浪記 全4巻	1979(昭和54)年	資料本	
資29	山下清 放浪日記	1956(昭和31)年	資料本	
資30	山下清 日本の風物	1961(昭和36)年	資料本	
資31	放浪 牢屋から逃げたい	1971(昭和46)年	資料本	
資32	別冊サンケイ(表紙)	1957(昭和32)年	資料本	
資33	画集 山下清ひとりだけの旅	1970(昭和45)年	資料本	
資34	山下清作品集(A) 1956	1956(昭和31)年	資料本	
資35	山下清作品集(B) 1959	1959(昭和34)年	資料本	
資36	週刊朝日	1955(昭和30)年	資料本	
資37	新宿第一劇場 大歌舞伎	1959(昭和34)年	資料本	

企画展2

夏休み特別企画

ニホンガ

日本画っておもしろい！

～ニホンガ研究会～



- 会期 平成26年7月12日(土)～8月24日(日) (39日間)
- 会場 長野県信濃美術館
(第1展示室・小展示室)
- 主催等 (主 催) 長野県、長野県信濃美術館
(共 催) 長野県教育委員会
(後 援) 長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野県商工会議所、善光寺、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本長野支社、信濃毎日新聞社、abn 長野朝日放送
- 観覧料 大人800(700)円、大学生600(500)円、高校生以下無料、その他割引制度
※()は20名以上の団体料金
※同時開催「信州大学×長野県信濃美術館コラボ展」と共通
- 入館者数 6,442人(有料 3,468人 無料 2,974人)
- 担当者 学芸員 渡辺美保
- イベント ①山口晃・トークショー／講師：山口晃(画家)／日時：7月13日(日)13：30～15：00／場所：長野県信濃美術館講堂／参加人数：100人
②ギャラリートーク／7月12日(土)参加人数：20人／7月19日(土)参加人数：15人／7月26日(土)参加人数：10人／8月2日(土)参加人数：10人／8月9日(土)参加人数：15人／8月16日(土)参加人数：0人／8月23日(土)参加人数：30人 ※いずれも13：00～
③これであなたもニホンガ通！～ニホンガ取扱実習～※展示室内で随時開催。

一般住宅における和室のプライオリティーが低くなっていった戦後、床の間を備えた家屋は減少し、屏風を所有する一般家庭は少なくなっている。本展覧会では、普段の生活の中から日本画に親しんでもらえる“日本美術ファン”を増やすことを目指し、いわゆる「日本画」において特徴的な描法・技法が見られるもの、そして何よりも優れた表現がなされている作品を、詳しい解説とともに展示。さらに軸や巻物の扱い方をマスターできるコーナーも設けて、“古くて新しいニホンガの世界”を紹介した。



【ニホンガの一大勢力・狩野派】キーワード…狩野派、御用絵師（お抱え絵師）

NO.	展示 期間	作家名	作品名	制作年	技法・材質	形状	大きさ(cm)	所蔵者
1	後期	狩野山雪	雪中騎驢図	江戸時代初期	紙本墨画	軸装	155.6×47.1	千葉市美術館
2		伝狩野山楽	二十四孝図屏風	17世紀	紙本金地彩色	六曲一双屏風	151.0×344.0	田中本家博物館蔵
3	前期	狩野養信(晴川院)	群鹿群鶴図屏風	江戸時代	絹本著色	六曲一双屏風	(各)140.7×276.0	板橋区立美術館
4	後期	狩野雅信(勝川院)	御殿山筑波山遠望図	江戸時代	絹本著色	軸装(対幅)	(各)118.2×43.3	板橋区立美術館
5	後期	三村晴山	紫式部・清少納言図		絹本着色	軸装(対幅)	各94.0×61.0	長野県立歴史館
6		三村晴山	秋景山水図		絹本着色	軸装(対幅)	各109.3×43.5	個人蔵
7		三村晴山	山水図		絹本着色	額装	22.2×156.5	個人蔵

【江戸時代の人気画派】キーワード…円山派、琳派（※）

8	前期	円山応挙	秋月雪峡図	1786年(天明6)	紙本墨画淡彩	六曲一双屏風	各154.6×348.2	千葉市美術館
9	後期	円山応挙	中寿老左右鸞鴛鴨三幅対		絹本彩色	軸装(三幅対)	各118×50	北野美術館
10	後期	酒井道一	桐菊流水図屏風	江戸～明治時代	絹本金地著色	二曲一双屏風	(各)171.8×172.6	板橋区立美術館

【人々とともに～仏画・禅画～】キーワード…仏画、禅画

11	前期		絹本著色阿弥陀聖衆来迎図	南北朝時代	絹本著色	軸装	117.3×59.5	善光寺大勧進
12	後期		五髻文殊菩薩騎獅子像	鎌倉時代	絹本著色	軸装	96.7×41.6	善光寺大勧進
13			紙本著色善光寺縁起絵	江戸時代前期	紙本著色	軸装(三幅対)	各135.2×73.8	善光寺大勧進
14	後期	仙涯	布袋画賛	江戸時代	紙本墨画	軸装	32.4×57.4	出光美術館
15	前期	仙涯	鍾馗画賛	江戸時代	紙本墨画	軸装	115.4×50.8	出光美術館
16	前期	白隠	隻手布袋図		紙本墨画	軸装	84.1×28.6	飯田市美術博物館
17	後期	白隠	塞耳猿猴図		紙本墨画	軸装	31.4×57.1	飯田市美術博物館
18		白隠	隻履達磨像		紙本墨画淡彩	軸装	190.0×107.7	龍嶽寺
19		白隠	壽布袋図		紙本墨画	軸装	60.0×132.4	開善寺

【信州に逗留した画狂人・葛飾北斎】

20	前期	葛飾北斎	白拍子	1820年頃	絹本着色	軸装	98.0×41.9	北斎館
21	前期	葛飾北斎	富嶽と徐福	1846年(弘化3)	絹本着色	軸装	86.5×26.9	北斎館
22	後期	葛飾北斎	菊	1847年(弘化4)	絹本着色	双幅	各95.5×31.4	北斎館
23	後期	葛飾北斎	自画像(信濃路の旅姿図)		紙本彩色	軸装	61×24.5	北野美術館
24		高井鴻山	妖怪図 妖怪漢詩	江戸以降	紙本墨画	軸装	137.0×66.4	高井鴻山記念館
25		高井鴻山	菊図	江戸以降	絹本彩色	軸装	110.0×34.0	高井鴻山記念館

【信州で大人気！ 南画・文人画】

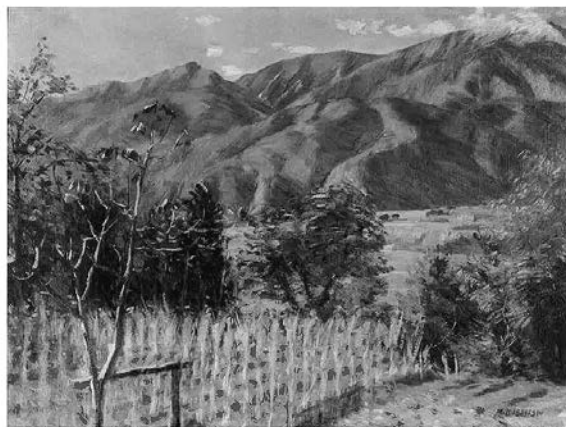
26		鈴木芙蓉	冬夏花鳥	1790年(寛政2)	絹本彩色	六曲一双屏風	各155.5×349.5	長野県信濃美術館
27		鈴木芙蓉	秋景山水図		紙本墨画	軸装	128.5×27.7	長野県信濃美術館
28		川上冬崖	花卉	1878年(明治11)	絹本彩色	軸装	171.0×85.3	長野県信濃美術館
29		佐竹蓬平	莊周胡蝶夢	不詳	絹本彩色	軸装	126.2×45.3	長野県信濃美術館
30		長井雲坪	夏山雨意	1875年(明治8)	紙本彩色	六曲一隻	161.8×329.4	長野県信濃美術館
31		児玉果亭	深山大沢	1902年(明治35)	絹本墨画	軸装	169.7×83.8	長野県信濃美術館

【信州出身・近代の日本画家たち】

32		横山大観／菱田春草	布袋／寿老図	1903年(明治36)頃	絹本彩色	軸装(対幅)	各126.2×42.1	長野県信濃美術館
33		西郷孤月	月下飛鷺	1901年(明治34)頃	絹本彩色	軸装	123.7×48.2	長野県信濃美術館
34		木村武山	慈母觀世音	1930年(昭和5)	絹本彩色	軸装	186.5×85.0	長野県信濃美術館

※前期…7/12（土）～8/5（火）、後期…8/7（木）～8/24（日）

信州大学×長野県信濃美術館コラボ展



信州大学×長野県信濃美術館コラボ展

2014.7/12(土)～8/24(日)

9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週水曜日(8月13日)(祝祭日)

観覧料：大人800(700)円/大学生600(500)円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度

※県内自由会館の観覧料：大人1,000円/大学生700円/高校生以下無料

2013年に結ばれた信州大学と長野県信濃美術館との連携に関する覚書に基づき、信州大学と長野県信濃美術館収蔵品によるコラボレーション(共同企画)展として実施した。長野県を描いた風景画を中心に、信州大学・信濃美術館双方の所蔵品の中から同作家・同取材地の作品を展示した。

また、「信州 山の日」特別展示として、「20世紀のこどもたち」が描いた信州の山」と題し、信濃教育会が収蔵する「信州子ども絵画100年館」より、1985年～2000年の全県下の小中学生が描いた信州の山約60点を展示した。



- 会期 平成26年7月12日(土)～8月24日(日) (39日間)
- 会場 長野県信濃美術館 (第2展示室・ロビー)
- 主催等 (主 催) 長野県、長野県信濃美術館、信州大学
(共 催) 長野県教育委員会
(協 力) (公社) 信濃教育会
(後 援) 長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、長野県美術教育研究会、(公財) 八十二文化財団、(公財) ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本長野支社、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送
- 観覧料 大人：800(700)円、大学生600(500)円、高校生以下無料
※同時開催「日本画(ニホンガ)っておもしろい!」展と共通()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 6,442人(有料 3,468人 無料 2,974人)
- 担当者 学芸員 伊藤羊子 伊藤仁美 松浦千栄子
- イベント
 - ①ギャラリートーク特別篇編/講師：金井直准教授(信州大学人文学部人文学科哲学・芸術論コース)/日時：7月21日(月・祝)13:00～13:30/場所：長野県信濃美術館第2展示室/参加人数：33人
 - ②スペシャルトーク「森の博士と風景画をよみとく」/講師：井田秀行准教授(信州大学志賀自然教育園館長)/日時：7月26日(土)13:00～14:00/場所：長野県信濃美術館講堂/参加人数：21人
 - ③ギャラリートーク/7月12日(土)参加人数：5人/7月19日(土)参加人数：1人/8月2日(土)参加人数：1人/8月9日(土)参加人数：0人/8月16日(土)参加人数：4人/8月23日(土)参加人数：45人 ※いずれも13:00～
 - ④信大生のワークシートに挑戦/会期中会場内に設置/自由参加
 - ⑤ワークショップ「信州の山をコラージュしよう」/会期中ロビーに設置/自由参加

NO	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ (cm)	所蔵
【第1章 旧制松本高等学校所蔵作品×長野県信濃美術館所蔵作品 同作家、同取材地】						
1	藤島武二	ローマの風景	1907年	油彩、ボード	35.0×25.5	信州大学附属図書館蔵
2	藤島武二	杏花	1933年	油彩、カンヴァス	45.5×53.1	長野県信濃美術館蔵
3	藤島武二	春(杏花咲く村)	1935年	油彩、カンヴァス	33.3×45.7	長野県信濃美術館蔵
4	岡田三郎助	信濃の春	1922年	油彩、カンヴァス	33.5×53.0	信州大学附属図書館蔵
5	岡田三郎助	千ヶ滝	1935年	油彩、カンヴァス	40.2×60.2	長野県信濃美術館蔵
6	中沢弘光	伊豆山の風景	1921年	油彩、カンヴァス	33.4×45.4	信州大学附属図書館蔵
7	中沢弘光	野尻湖	不詳	油彩、カンヴァス	45.1×53.0	長野県信濃美術館蔵
8	満谷国四郎	晩秋、野尻湖畔	1923年	油彩、カンヴァス	51.5×64.5	信州大学附属図書館蔵
9	満谷国四郎	野尻湖	1919年	油彩、カンヴァス	60.6×72.8	長野県信濃美術館蔵
10	満谷国四郎	北信野尻湖	1925年	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	長野県信濃美術館蔵
11	柚木久太	雪の諏訪湖の景	1920年	油彩、カンヴァス	45.0×52.0	信州大学附属図書館蔵
12	大久保作次郎	諏訪湖雪景	1921年	油彩、カンヴァス	91.0×72.8	長野県信濃美術館蔵
13	金山平三	結氷	1930年	油彩、カンヴァス	60.8×91.0	長野県信濃美術館蔵
14	南 薫造	雨	不詳	油彩、カンヴァス	45.5×61.0	信州大学附属図書館蔵
15	南 薫造	山湖初秋	1926年	油彩、カンヴァス	65.1×80.3	長野県信濃美術館蔵
16	辻 永	風景	不詳	油彩、板	23.7×32.8	信州大学附属図書館蔵
17	辻 永	安茂里の杏花	1951年	油彩、カンヴァス	50.0×65.5	長野県信濃美術館蔵
18	辻 永	凍解	1964年	油彩、カンヴァス	77.0×101.5	長野県信濃美術館蔵
19	小林万吾	山辺	不詳	油彩、カンヴァス	61.0×81.0	信州大学附属図書館蔵
20	田辺至	秋色	1920年	油彩、カンヴァス	117.0×91.0	信州大学附属図書館蔵
21	田辺至	早春の湖畔	1960年頃	油彩、カンヴァス	72.8×91.3	長野県信濃美術館蔵
22	石川寅治	春雨の潮来	1920年	油彩、カンヴァス	45.0×37.0	信州大学附属図書館蔵
23	藤岡亀三郎	登山口四ツ谷	1923年	油彩、カンヴァス	33.5×45.2	信州大学附属図書館蔵
24	矢崎千代二	印度教徒の沐浴場	不詳	パステル、紙	23.5×32.7	信州大学附属図書館蔵
25	矢崎千代二	インドの村落 カルカッタ 郊外	不詳	パステル、紙	33.0×23.6	信州大学附属図書館蔵
26	石井柏亭	野尻湖	1954年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	長野県信濃美術館蔵
27	石井柏亭	鞆の津	1921年	水彩、紙	39.5×54.5	信州大学附属図書館蔵
28	石井柏亭	奥の細道 文字摺観音	1943年	水彩、紙	38.4×29.7	長野県信濃美術館蔵
29	石井柏亭	ニュルンベルクにて	1912年	水彩、紙	38.2×27.0	長野県信濃美術館蔵
30	石井柏亭	ローマにて(イゾラ・チベ リーナ)	1911年	水彩、紙	28.5×39.2	長野県信濃美術館蔵
31	石井柏亭	画室小集	1949年	油彩、カンヴァス	110.7×160. 8	長野県信濃美術館蔵
32	清水良雄	湖畔	1920年	油彩、カンヴァス	65.5×80.5	信州大学附属図書館蔵
33	高木背水	五月雨の朝	不詳	油彩、カンヴァス	45.7×61.0	信州大学附属図書館蔵
34	白滝幾之助	バラ	不詳	油彩、カンヴァス	45.7×33.5	信州大学附属図書館蔵
35	長原孝太郎	花瓶と花	不詳	油彩、カンヴァス	53.0×41.0	信州大学附属図書館蔵
36	和田英作	スイトピー	1920年	油彩、カンヴァス	53.0×72.5	信州大学附属図書館蔵
37	石井鶴三	風 試作	1956年	ブロンズ	高さ78.3	長野県信濃美術館蔵
38	石井鶴三	母古稀像	1927年 (铸造1989 年)	ブロンズ	高さ42.0	信州大学附属図書館蔵
39	石井鶴三	水浴女	1964年	ブロンズ	高さ46.0	長野県信濃美術館蔵
40	石井鶴三	踊	1930年	ブロンズ	高さ29.0	長野県信濃美術館蔵
【第2章 新制大学所蔵作品】						

NO	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ (cm)	所蔵
41	大池宗作	丘のみえる風景	1986年	油彩、カンヴァス	60.7×50.0	信州大学附属図書館蔵
42	松本昇	杭州にて	1942年	油彩、カンヴァス	24.0×33.0	信州大学附属図書館蔵
43	松本昇	城山風景Ⅱ	1949年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0	信州大学附属図書館蔵
44	松本昇	人物(クミコの肖像)	1932年	油彩、カンヴァス	45.5×38.0	信州大学附属図書館蔵
45	松本昇	人物(緑の肖像)	1957、58 年頃	油彩、カンヴァス	52.5×45.4	信州大学附属図書館蔵
46	松本昇	人物	1942年	油彩、カンヴァスボード	27.5×23.7	信州大学附属図書館蔵
47	松本昇	人物(中国・中支にて)	1942年	油彩、カンヴァス	45.7×38.0	信州大学附属図書館蔵
48	松本昇	裸婦 習作	1933年	油彩、カンヴァスボード	33.3×24.0	信州大学附属図書館蔵
49	三科タカオ	伊豆海岸	不詳	油彩、カンヴァス	31.6×40.7	信州大学附属図書館蔵
50	奥谷全弘	信州北アルプス	不詳	油彩、カンヴァス	45.5×53.1	信州大学附属図書館蔵
51	両角克夫	善福寺風景	不詳	油彩、カンヴァス	65.0×90.9	信州大学附属図書館蔵
52	有賀由延	信州の自然 初夏	1988年	アクリル・カンヴァス	130.2×162.0	信州大学附属図書館蔵
53	浦野吉人	闇の夜	1982年	水彩、紙	31.8×48.0	信州大学附属図書館蔵
54	浦野吉人	門のある街	1970年	水彩、紙	25.0×33.3	信州大学附属図書館蔵
【第3章 特集—信州の山】						
55	足立真一郎	初夏の拇池自然園	1980年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	長野県信濃美術館蔵
56	足立源一郎	春の穂高(長堀にて)	1960年頃	油彩、カンヴァス	50.0×60.7	長野県信濃美術館蔵
57	丸山晚霞	初夏の志賀高原	1909年頃	水彩、紙	67.0×101.0	長野県信濃美術館蔵
58	吉田博	有明山	1920年	油彩、カンヴァス	各149.5× 67.0	長野県信濃美術館蔵
59	安井曾太郎	秋の霞沢岳	1938年	油彩、カンヴァス	53.7×69.0	長野県信濃美術館蔵
60	梅原龍三郎	浅間山	1957年	油彩、ガッシュ、紙	72.2×90.9	長野県信濃美術館蔵
61	小山敬三	暮れゆく浅間	1968年	油彩、カンヴァス	145.5×97.0	長野県信濃美術館蔵
62	田村一男	八ヶ岳初冬	1978年	油彩、カンヴァス	89.4×145.5	長野県信濃美術館蔵
63	横井弘三	浅間山風景	1949年頃	油彩、カンヴァス	72.8×91.0	長野県信濃美術館蔵

特別展

手塚治虫×石ノ森章太郎

マンガのちから



本展では、“マンガの神様”手塚治虫と“マンガの王様”石ノ森章太郎の歩みや作品に込められたメッセージを、「鉄腕アトム」、「ブラック・ジャック」、「サイボーグ009」、「仮面ライダー」といった代表作の原画や様々な映像などで振り返りながら、“マンガのちから”の源流を探った。二人のマンガから大きな影響を受けて育った、現在各界で活躍する著名人たちによるオマージュ作品も紹介した。

- 会期 平成26年10月4日(土)～12月7日(日) (56日間)
- 会場 長野県信濃美術館
(第1展示室・第2展示室・小展示室)
- 主催等 (主 催)長野県 長野県信濃美術館 信濃毎日新聞社
NHK長野放送局 NHKプロモーション
(共 催)長野県教育委員会 (公財)信毎文化事業財団
(後 援)外務省 経済産業省 長野市 長野市教育委員会 長野県芸術文化協会 長野商工会議所 善光寺
(公財)八十二文化財団 (公財)ながの観光コンベンションビューロー JR東日本長野支社(予定)
特別協力:手塚プロダクション 石森プロ
機材協力:NECディスプレイソリューションズ
- 観覧料 大人:1,300(1,200)円、大学生1,100(1,000)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 11,111人(有料 6,218人 無料 4,893人)
- 担当者 学芸員 木内真由美
- イベント ①スペシャルギャラリートーク/講師:株式会社石森プロ 漫画家 早瀬マサト氏 /日時:10月4日(土)13:30～参加人数:80人
/講師:株式会社手塚プロダクション 資料室長 森晴路氏 (松本市出身)/日時:11月2日(土)13:30～参加人数:70人
②ワークショップ「ソーマトロップを作ろう」/案内役:当館学芸員/日時:第1回10月11日(土)参加人数24人/第2回 10月25日(土)参加人数10人/第3回 11月8日(土)参加人数25人/場所:長野県信濃美術館3階講堂 ※いずれも10:00～
③ももくろ等身大パネルと一緒に写真を撮ろう /「ももいろクローバーZ」と「サイボーグ009」がコラボレーション。サイボーグ009の衣装を着たももクロメンバーの等身大パネルがロビーに登場します /会期中毎日/場所:長野県信濃美術館ロビー/自由参加
④東日本大震災復興応援企画～1万人のモザイクアートを石巻へ～
会期中毎日/場所:長野県信濃美術館ロビー/自由参加



NO	章	作品名	所蔵	員数	作者	掲載時期・年代	サイズ (mm)
第1会場							
1	プロローグ 「ここからはじまり」	「ピンピン生(セイ)チャン」肉筆本	手塚プロダクション	1冊	手塚治虫	1937年	130×90
2		「火星人来る!!」肉筆本	手塚プロダクション	1冊	手塚治虫	1939年頃	90×130
3		「噫それなのに」直筆原稿	手塚プロダクション	1冊	手塚治虫	1946年頃	330×243
4		石ノ森 幼少期のらくがき	石ノ森章太郎ふさと記念館	1枚	石ノ森章太郎	年代不詳	245×305
5		石ノ森 少年期のらくがき	石ノ森章太郎ふさと記念館	1枚	石ノ森章太郎	年代不詳	380×270
6		石ノ森 まんが本表紙の模写	石ノ森章太郎ふさと記念館	1冊	石ノ森章太郎	年代不詳	210×150
7		紙芝居「コザルノキョクゲイ」	個人蔵	1組	—	1941年	271×385
8		「おやち教育」	個人蔵	5部	—	1923年～	365×260
9		赤本漫画『冒険まんが』 ジャングル王子』宝島の巻	個人蔵	1冊	—	年代不詳	155×105
10		赤本『ノンキナ トウサン 武者修行』	個人蔵	1冊	—	1932年2月10日発行	
11		貸本漫画『赤胴鈴之助』第14巻	個人蔵	1冊	—	1957年	183×135
12		「新宝島」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	作画：手塚治虫	1986年10月3日	257×364
13		単行本『新寶島』	個人蔵	1冊	作画：手塚治虫	1947年	183×130
14		「ロストワールド」原稿	手塚プロダクション	2枚	手塚治虫	1948年12月20日	257×181
15		「メトロポリス」直筆原稿	手塚プロダクション	2枚	手塚治虫	1949年9月15日	273×198
16		「来るべき世界」原稿	手塚プロダクション	2枚	手塚治虫	1951年1月10日、1951年2月10日	271×190
17		単行本『ロストワールド』	個人蔵	1冊	手塚治虫	1982年	182×130
18		単行本『メトロポリス』	個人蔵	1冊	手塚治虫	1979年	182×130
19		単行本『来るべき世界』	個人蔵	2冊	手塚治虫	1977年～1978年	182×130
20	第1部 「二人の出会い マンガの誕生」 手塚作品・ 新人マンガ たちの作品	「メトロポリス」未使用原稿	松本零士氏蔵	3枚	手塚治虫	年代不詳	184×132 177×127 200×130
21		「有尾人」未使用原稿	松本零士氏蔵	4枚	手塚治虫	年代不詳	208×151 208×155 208×159 208×154
22		「浮漂島」未使用原稿	松本零士氏蔵	1枚	手塚治虫	年代不詳	174×125
23		「一千年後の世界」未使用原稿	松本零士氏蔵	1枚	手塚治虫	年代不詳	179×133
24		『漫画少年』創刊号	寺田孝雄氏蔵	1冊	—	1947年12月発行	257×180
25		『漫画少年』創刊の言葉(パネル)	寺田孝雄氏蔵			1947年	
26		「墨汁一滴」	石森プロ	6冊	石ノ森章太郎	1954～1960年	2号：140× 214／6号： 265×190／7 号265× 185／8号255 ×193／9号 325×255／ 10号325× 255
27		「墨汁一滴」東日本漫画研究会二周年に寄せた手塚のコメント(パネル)	石森プロ			1954年	
28		「墨汁一滴」石ノ森直筆イラスト(パネル)	石森プロ			1954年	
29		「墨汁一滴」作品批評	石森プロ	3冊			
30		「われない椰子の実」未発表原稿	寺田孝雄氏蔵	6枚	石ノ森章太郎	1954年	260×185
31		「二級天使」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1955年1月号～10月号	380×270
32		手塚から石ノ森への電報(パネル)					
33		石ノ森が描いた「鉄腕アトム」電光人間の巻 直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1952年4月号～1968年3月号他	197×134、 134×134、 134×197、 134×197
34		「トキワ荘物語」直筆原稿	手塚プロダクション	3枚	手塚治虫	1970年9月号	327×236
35		「ぼくの部屋にはベーターベンのデス・マスクがあった」原稿(複製)	石森プロ	2枚	石ノ森章太郎	1981年3月号	379×268
36		当時の「トキワ荘」(写真)		8枚			
37		トキワ荘メンバー集合(パネル)					
38		「快傑ハリマオ」直筆原稿	石森プロ	1枚	画：石ノ森章太郎	1960年16号～1961年10号	379×268
39		「龍神沼」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1961年夏休み増刊号	270×190
40		映像「東京1/3周」				1958年頃	
41		石ノ森部屋再現					
42		「東京1/3周」8ミリフィルム	石ノ森章太郎ふさと記念館	1点	石ノ森章太郎	1958年頃	130×130

NO	章	作品名	所蔵	員数	作者	掲載時期・年代	サイズ (mm)
43	第2部 「爆発するマンガ 時代への挑戦」石ノ森が拓げるマンガ	8ミリカメラ	石ノ森章太郎ふるさと記念館	1点	—	年代不詳	205×270
44		ムービーフィルム	石森プロ	4枚		年代不詳	178×253 175×250
45		ラーメン					
46		チューダー					
47		「ジャングル大帝」直筆原稿（複製）	手塚プロダクション	2枚	手塚治虫	1950年11月号～1954年4月号他	364×257
48		トキワ荘メンバーが描いた「ぼくのそんこく」直筆原稿	手塚プロダクション	6枚	手塚治虫	1952年2月号～1959年3月号	350×250、 338×243、 351×235、 353×236、 359×256、 346×254
49		手塚部屋再現					
50		『週刊少年サンデー』創刊号	個人蔵	1冊	—	1959年	257×189
51		『週刊少年マガジン』創刊号	個人蔵	1冊	—	1959年	257×183
52		アニメスタジオ“虫プロダクション”の設立（パネル）				1962年発足	
53		「鉄腕アトム」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1952年4月号～1968年3月号他	326×263
54		「鉄腕アトム」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1952年4月号～1968年3月号他	364×257
55		「鉄腕アトム」キャラクター玩具	個人蔵	1点		1964年	222×100×50
56		「アトム大使」構想ノート	手塚プロダクション	1冊	手塚治虫	年代不詳	209×147
57		「ジャングル大帝」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1950年11月号～1954年4月号他	344×256
58		「ジャングル大帝」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1950年11月号～1954年4月号他	364×257
59		「ジャングル大帝」構想ノート	手塚プロダクション	1冊	手塚治虫	年代不詳	212×150
60		「リボンの騎士」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1963年1月号～1966年10月号	346×251
61		「リボンの騎士」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1963年1月号～1966年10月号	364×257
62		「サイボーグ009」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1966年27号30号～1967年13号	515×380
63	「サイボーグ009」ミュートス・サイボーグ編直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1966年27号30号～1967年8月号	389×273、 361×249、 348×272	
64	「サイボーグ009」設定資料 神々との戦い、009コンクルージョン ゴッス・ウォー	石森プロ	1冊	石ノ森章太郎			
65	「サイボーグ009」設定資料 神話大戦 オリュンボスの神々編	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎			
66	「サイボーグ009」設定資料 神々との戦い	石森プロ	1冊	石ノ森章太郎			
67	「マグマ大使」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1965年5月号～1967年8月号	464×343	
68	「マグマ大使」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1965年5月号～1967年8月号	364×257、 316×220、 316×220、 316×220	
69	TVアニメーション「ふしぎなメルモ」	手塚プロダクション	5枚	手塚治虫	1971年		
70	「ぼくの落書ノート」	石森プロ	3冊		1956年前後にトキワ荘にて描かれた落書きノート		
第2会場							
71	第2部 「爆発するマンガ 時代への挑戦」石ノ森が拓げるマンガ	月刊漫画『ガロ』創刊号	個人蔵	1冊	—	1964年	257×173
72		月刊コミック・マガジン『COM』創刊号	個人蔵	1冊	—	1967年	259×185
73		「火の鳥」黎明編直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1967年1月号～1971年10月号他	393×308
74		「火の鳥」黎明編直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1967年1月号～1971年10月号他	364×257
75		「火の鳥」乱世編設定資料	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	年代不詳	257×364
76		月刊コミック・マガジン『COM』	個人蔵			1967年	
77		「章太郎のファンタジーワールドジュン」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1967年1月号～1969年2月号	395×275
78		「章太郎のファンタジーワールドジュン」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1967年1月号～1969年2月号他	365×270
79		「どろろ」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1967年8月27日号～1968年7月21日号	419×308
80		「どろろ」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1967年8月27日号～1968年7月21日号	364×257

NO	章	作品名	所蔵	員数	作者	掲載時期・年代	サイズ (mm)
81		「佐武と市捕物控」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1968年4月～1972年4月10 日号	355×255
82		「佐武と市捕物控」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1968年4月～1972年4月10 日号	390×270、 390×270、 390×248、 390×248
83		「佐武と市捕物控」設定資料	石森プロ	5枚	石ノ森章太郎	年代不詳	298×210 259×190 298×210
84		「ザ・クレーター」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1969年8月10日号～1970年 4月1日号	364×257
85		「やけっぱちのマリア」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1970年4月15日～1970年11 月16日号	364×257
86		「スカルマン」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1970年3月号	355×255
87		「仮面ライダー」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1971年16号～23号他	300×405
89		「仮面ライダー」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1971年16号～23号他	390×270
90		「仮面ライダー」キャラクター玩具	個人蔵	1点	個人	1971年	95×710×40
91		「仮面ライダー」設定資料(台本)	石森プロ	1冊	石ノ森章太郎	年代不詳	260×180
92		「仮面ライダー」設定資料(台本)	石森プロ	1冊	石ノ森章太郎	年代不詳	245×175
93		「仮面ライダー」設定資料(仮タイトル案)	石森プロ	2枚	石ノ森章太郎	年代不詳	395×272
94		「仮面ライダー」設定資料(メモ + 裏面コピー)	石森プロ	2枚	石ノ森章太郎		
95		「仮面ライダー」設定資料(メモ)	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎		
96		「人造人間キカイダー」直筆原稿	石森プロ	2枚	石ノ森章太郎	1972年30号～1974年13号	405×270、 405×275
97		「人造人間キカイダー」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1972年30号～1974年13号	395×273、 395×273、 395×273、 395×234
98		「人造人間キカイダー」設定資料	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	年代不詳	297×210
99		「人造人間キカイダー」設定資料(パネル)	石森プロ				
100		「がんばれロボコン」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1974年42号～1975年16号	393×234
101		「がんばれロボコン」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1974年42号～1975年16号	395×270
102		「秘密戦隊ゴレンジャー」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1975年4月～1976年2月号	383×270
103		「秘密戦隊ゴレンジャー」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1975年4月～1976年2月号	393×270
104		「秘密戦隊ゴレンジャー」設定資料	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	年代不詳	420×320
105		「秘密戦隊ゴレンジャー」設定資料(パネル)	石森プロ				
106		「ブラック・ジャック」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1973年11月19日号～1983 年10月14日号	382×278
107		「ブラック・ジャック」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1973年11月19日号～1983 年10月14日号	364×257
108		「陽だまりの樹」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1981年4月25日号～1986年 12月25日号	364×257
109		「陽だまりの樹」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1981年4月25日号～1986年 12月25日号	364×257
110		「ブライム・ローズ」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1982年7月9日号～1983年6 月3日号	364×257
111		ビデオソフト パッケージ	手塚プロダクション	—	—	—	—
112		鉄腕アトム	手塚プロダクション			1986年	
113		新ジャングル大帝 PART-2	手塚プロダクション			1986年	
114		リボンの騎士 PART-1	手塚プロダクション			1987年	
115		どろろ	手塚プロダクション			1985年	
116		ユニコ 魔法の島へ	手塚プロダクション			1992年	
117		佐武と市捕物控 拾巻	石森プロ			1999年	
118		がんばれ!! ロボコン Vol. 10	石森プロ			1999年	
119		石ノ森章太郎の八百八町表裏化粧師 VOL. 巻	石森プロ			1991年	
120		ファミリーコンピュータ	個人蔵	1点	—	1983年	263×353× 88
121		仮面ライダー SD グラン ショッカーの野望	個人蔵	1点	—	1994年	98×138×21
122		仮面ライダー倶楽部	個人蔵	1点	—	1988年	88×125×21
123		三つ目がとおる				1992年	
124		鉄腕アトム	個人蔵	1点	—	1988年	137×95×21
125		火の鳥 鳳凰編 我王の冒険	個人蔵	1点	—	1987年	95×137×21
126		「ブッダ」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1972年9月号～1983年12月 号	379×272

NO	章	作品名	所蔵	員数	作者	掲載時期・年代	サイズ (mm)
127		「ブッダ」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1972年9月号～1983年12月号	364×257
128		「アドルフに告ぐ」直筆原稿	手塚プロダクション	1枚	手塚治虫	1983年1月6日号～1985年5月30日号	383×269
129		「アドルフに告ぐ」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1983年1月6日号～1985年5月30日号	364×257
130		「HOTEL」直筆原稿	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1984年9月25日号～1988年3月10日号	393×272
131		「HOTEL」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1984年9月25日号～1988年3月10日号	393×272
132		「マンガ日本経済入門」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1986年11月25日発行	394×273
133		「マンガ日本の歴史」直筆原稿	石ノ森章太郎ふるさと記念館	1枚	石ノ森章太郎	1989年11月8日～1993年10月20日発行	720×515
134		「マンガ日本の歴史」直筆原稿	石森プロ	3枚	石ノ森章太郎	1989年11月8日～1993年10月20日発行	395×272
135		『週刊少年ジャンプ』	明治大学 現代マンガ図書館(内記コレクション)	1冊	—	1995年	257×180
136		石ノ森 手塚への追悼イラスト	石森プロ	1枚	石ノ森章太郎	1989年	195×270
137		石ノ森章太郎「萬画宣言」草稿	石森プロ	1枚	-	1989年	300×240
138		「火の鳥」黎明編 直筆原稿	手塚プロダクション	19枚	手塚治虫	1967年1月号～1988年2月号他	364×257
139		「W3(ワンダースリー)」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1965年5月30日号～1966年5月8日号	364×257
140		「双子の騎士」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1958年1月号～1959年6月号	364×257
141		「サイボーグ009」直筆原稿	石森プロ	21枚	石ノ森章太郎	1966年27号30号～1967年13号	348×218
142		「小川のメダカ」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1981年10月1日号掲載	393×272
143		「八百八町表裏 化粧師」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1983年6月10日号～1984年9月10日号	393×273
144		「きりひと賛歌」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1970年4月10日号～1971年12月25日号	364×257
145		「人造人間キカイダー」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1972年30号～1974年13号	393×272
146		「ユニコ」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1980年4月号～1984年1月号	383×270
147		「星の子チョピン」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1974年14号～27号	395×273
148		「O マン」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1959年9月13日号～1960年12月11日号	364×257
149		「サイボーグ009」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1966年27号30号～1967年13号	358×242、 395×272、 350×272、 352×244
150	第3部 「“ちから”の 本質対決」	「ライオンブックス モモンガのムサ」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1971年11月22日号	364×257
151		「三つの珠」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1958年4月号～1959年3月号	384×272
152		「三つ目がとおる」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1974年7月7日号～1978年3月19日号	364×257
153		「青いマン華鏡」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1973年6月号掲載	395×274
154		「やけっぱちのマリア」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1970年4月15日号～1970年11月16日号	364×257
155		「章太郎のファンタジーワールド ジュン」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1967年1月号～1960年2月号	395×274
156		「バンパイア」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1966年6月12日号～1967年5月7日号	364×257
157		「佐武と市捕物控」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1968年4月～1972年4月10日号	385×270
158		「ふしぎな少年」直筆原稿	手塚プロダクション	4枚	手塚治虫	1961年5月号～1962年12月号	364×257
159		「章太郎のファンタジー・ワールド ジュン」直筆原稿	石森プロ	4枚	石ノ森章太郎	1967年1月号～1969年2月号	393×273
160		「さるとびエッチちゃん」直筆原稿	石森プロ	8枚	石ノ森章太郎	1971年32号～1972年9号	395×272
161		「ブラック・ジャック」二度死んだ少年直筆原稿	手塚プロダクション	20枚	手塚治虫	1973年11月19日号～1983年10月14日号	364×257
162		「009ノ1」直筆原稿	石森プロ	20枚	石ノ森章太郎	1967年1号～1970年9号	385×268
163		「鉄腕アトム」人工太陽球の巻直筆原稿	手塚プロダクション	25枚	手塚治虫	1952年4月号～1968年3月号	364×257
164		羽海野チカ作品	羽海野チカ	1枚	羽海野チカ	2013年	548×433
165	第4部 未来へ生き 続ける“ちから”	小畑 健作品	小畑 健	2枚	小畑 健	2013年	690×540
166		呉 由姫作品	呉 由姫	1枚	呉 由姫	2013年	337×460
167		過去からの声／買厄人九頭竜	さいとう・たかを	各8枚	さいとう・たかを	—	690×1640
168		TV 版「鉄腕アトム」第193話「地球最大の冒険」より	島本 和彦	15枚	島本 和彦	2013年	690×1640
169		ちばてつや伝一トモガキ	ちばてつや	4枚	ちばてつや	2013年	688×888

NO	章	作品名	所蔵	員数	作者	掲載時期・年代	サイズ (mm)
170		漫画の教科書(仮)	次原 隆二	9枚	次原 隆二	2013年	690×1240
171		天神 英貴作品	天神 英貴	1枚	天神 英貴	2013年	1130×828
172		手塚治虫・大いなる夢／石ノ森章太郎・幻影の日々	永井豪	2枚	永井豪	2013年	615×828
173		原 ゆたか作品	原 ゆたか	6枚	原 ゆたか	2013年	1140×1240
174		藤子不二雄Ⓐ作品	藤子不二雄Ⓐ	1枚	藤子不二雄Ⓐ	2013年	690×540
175		厩作「佐武と市捕物控」	細野 不二彦	3枚	細野 不二彦	2013年	690×1640
176		松本零士作品	松本零士	2枚	松本零士	2013年	690×540
177		睡眠のチカラ	水木しげる	2枚	水木しげる	2013年	690×540
178		やなせたかし作品	やなせたかし	2枚	やなせたかし	2013年	548×433
179		ヤマザキマリ作品	ヤマザキマリ	1枚	ヤマザキマリ	2013年	548×433
180		和月 伸宏作品	和月 伸宏	1枚	和月 伸宏	2013年	548×433
181		ケン・ニイムラ作品	ケン・ニイムラ	1枚	ケン・ニイムラ	2013年	337×460
182		フィリップ・タン作品	フィリップ・タン	4枚	フィリップ・タン	2013年	688×888
183		自分以外	作家蔵	14点	中村ケンゴ	2010年 -13年／2011年 - 12年／2012年 - 13年	1770×250 410×318 410×318
184		アトムスーツ・プロジェクト：大阪万博2	個人蔵(東京都現代美術館寄託)	1枚	ヤノベケンジ	1998年	1200×1200
185		アレサンドロ・バルブッチ作品	アレサンドロ・バルブッチ	1枚	アレサンドロ・バルブッチ	2013年	337×460
186		フィリップ・カルドーナ / フロランス・トルタ 作品	フィリップ・カルドーナ フロランス・トルタ	2枚	フィリップ・カルドーナ フロランス・トルタ	2013年	690×540
第3会場							
187	第4部 未来へ生き 続ける“ちから”	終わらせなければ、始まらない。	神山健治	1点	神山健治	2014年	—
188		T シャツ／Nail Seal	加藤ミリヤ	3点	加藤ミリヤ	2013年	—
189		Power Black 1990年(NY メトロポリタン・ミュージアムでのショーに出品)	コシノジュンコ	1着	コシノジュンコ	1990年	550×750×1500
190		“ロビ(Robi)”	高橋智隆	6点	高橋智隆	2013年	身長340／体重約1kg
191		スターシステム継承コア	作家蔵	1点	梅沢和木	2013年	1030×728
193		列島改造人間(ドボッケン)／列島改造人間(弾丸レッシャー)	高橋コレクション	2点	風間サチコ	2002年	745×539 745×539
194		untitled	作家蔵	1点	谷口真人	2013年	940×780×185
195		表と裏	作家蔵	1点	福士朋子	2011年	1300×1800×556
196		手塚治虫へのオマージュソング「アトムの子」		1点	山下達郎	—	—
197		僕は愚かな人類の子供だった	佐野元春	1点	佐野元春	—	—
192		南淵明宏作品	南淵明宏	1点	南淵明宏	2014年	—
198		「サイボーグ009」キャラクター分析	名越康文	2点	名越康文	2014年	—
199		ももいろクローバー Z 作品	—	—	—	2014年	—

NO.	作品名	制作年	材質	大きさ (cm)	所蔵先	初出展覧会
小展示室						
1	ひなげしの図 小屏風	1940	彩研出蒔絵	67.0×182.0	安曇野高橋節郎記念美術館	紀元二千六百年奉祝展
2	紅梅白梅漆手 筥	1944	蒔絵	13.5×38.0×29.0	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	文部省戦時特別美術展
3	あやめ	1945	木胎漆器	直径27.0×2.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
4	けし	1945	木胎漆器	直径27.0×2.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
5	少女のいる室内	1946	木胎漆器	直径27.0×2.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
6	洋梨とりんご	1946	木胎漆器	直径27.0×2.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
7	トルソーのある室内	1947	木胎漆器	直径27.0×2.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
8	花の星座	1949	彩研出蒔絵、アルミニウム合金板	41.9×110.4	豊田市美術館	第5回日展
9	バラとカラジウム	1950	鎗金	45.0×38.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
10	ムーンライト	1953 (1994再制作)	木芯乾漆、金属、糸	直径13.0×44.5	安曇野高橋節郎記念美術館	第2回創作工藝展
11	踊り・タンゴ	1953 (1994再制作)	木芯乾漆、金属	直径10.8×36.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
12	踊り	1954	鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板	121.5×84.8	豊田市美術館	
13	青い絨毯	1955	鎗金	72.7×60.7	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
14	赤い絨毯	1955	鎗金	72.8×60.8	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
15	都会の歌	1955	鎗金、螺鈿	127.0×212.0	安曇野高橋節郎記念美術館 (寄託作品)	第11回日展
16	広間に置く棚 『作品58』	1958	堆朱絵、箔押	75.0×125.5×50.0	豊田市美術館	第1回新日展
第一展示室						
17	蜃気楼	1960	鎗金、彩錆絵、螺鈿	197.5×182.0	豊田市美術館	第3回新日展
18	蜃気楼「空中都市」	1961	朱叩き塗、鎗金	187.8×181.6	豊田市美術館	第4回新日展
19	化石	1963	彩錆絵	180.0×150.0	豊田市美術館	第6回新日展
20	化石の年輪	1965	鎗金、彩錆絵	180.0×150.0	豊田市美術館	第8回新日展
21	化石の森 開墾林	1966	鎗金、彩錆絵	180.0×180.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第9回新日展
22	化石群	1967	鎗金、彩錆絵	95.0×130.3	豊田市美術館	第6回日本現代工芸美術展
23	悠久の記	1971	鎗金、彩錆絵	182.0×182.4	豊田市美術館	第3回改組日展
24	紋	1972	鎗金、彩錆絵	121.0×90.8	豊田市美術館	第11回日本現代工芸美術展
25	天宙の記	1972	鎗金	182.0×182.8	豊田市美術館	第4回改組日展
26	遠森の記	1974	鎗金	175.8×163.4	豊田市美術館	第6回改組日展
27	星座創記	1975	鎗金	175.9×173.0	豊田市美術館	第7回改組日展
28	古墳映像	1976	鎗金、螺鈿	175.5×173.2	豊田市美術館	第8回改組日展
29	宙	1977	鎗金	121.3×85.0	豊田市美術館	第16回日本現代工芸美術展
30	古墳借景	1978	鎗金、螺鈿	176.0×170.0	豊田市美術館	第10回改組日展
31	樹下小憩	1980	鎗金、螺鈿	120.0×87.3	豊田市美術館	第12回日展
32	丘陵好日	1982	鎗金	91.0×116.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第21回日本現代工芸美術展
33	古墳松韻	1982	鎗金、螺鈿	176.0×172.0	豊田市美術館	第14回日展
34	古墳春秋	1984	鎗金	172.0×175.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第16回日展
35	古墳悠悠	1985	鎗金、螺鈿、堆朱	176.3×173.0	豊田市美術館	第17回日展
36	風光讃歌	1986	鎗金、螺鈿	126.0×91.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第25回日本現代工芸美術展
37	星座煌煌	1988	鎗金、螺鈿	175.0×172.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第20回日展
38	万化	1991	鎗金、螺鈿、堆朱	95.7×116.7	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	第30回日本現代工芸美術展
39	星空円舞	1991	鎗金、螺鈿	176.0×173.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第23回日展
40	満天星花	1992	鎗金、蒔絵、螺鈿	176.0×173.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第24回日展

NO.	作品名	制作年	材質	大きさ (cm)	所蔵先	初出展覧会
41	円の中の松 松風	1987	蒔絵、螺鈿	直径41.3×1.3	安曇野高橋節郎記念美術館	
42	円の中のさく らんば	1987	鎗金、螺鈿	直径41.3×1.3	豊田市美術館	
43	豊松の島	1993	蒔絵	直径41.5×1.3	安曇野高橋節郎記念美術館	
44	海(春)	1993	鎗金、螺鈿、彩錆 絵	直径41.5×1.3	(公財)高橋記念美術文化振 興財団	
45	果実のみのる 島	1993	蒔絵、螺鈿	直径41.5×1.3	安曇野高橋節郎記念美術館	
46	棗(松)		蒔絵、螺鈿	直径7.2×7.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
47	帯留(歌舞伎 絵)			4.5×3.8	安曇野高橋節郎記念美術館	
48	帯留(菊)			5.2×4.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
49	帯留(萩に月)			直径3.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
50	森神	1995	木芯乾漆立体	56.0×78.0×12.0	豊田市美術館	第34回日本現代工芸 美術展
51	化石の山	1997	木芯乾漆立体	30.0×74.0×17.0	豊田市美術館	第35回日本現代工芸 美術展
52	神々の山	1999	木芯乾漆立体	77.0×38.0×16.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第38回日本現代工芸 美術展
第二展示室						
53	星座物語	1994	鎗金、箔押、堆朱	176.0×173.0	(公財)高橋記念美術文化振 興財団	第26回日展
54	夢・太古の星 座	1995	鎗金、箔押、螺 鈿、堆朱	176.0×86.0	豊田市美術館	第27回日展
55	森の饗宴	1995	木芯乾漆立体	25.0×14.0×52.0	安曇野高橋節郎記念美術館	三越展
56	夢・まほろば の星座	1997	鎗金、箔押、螺 鈿、堆朱	181.0×90.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第29回日展
57	ある晴れた日	1997	鎗金、螺鈿	91.0×44.5	安曇野高橋節郎記念美術館	パリ展
58	新星誕生	1998	鎗金、箔押、螺鈿	181.0×90.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第30回日展
59	四季物語	2001	鎗金	146.0×112.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第33回日展
60	萌生	2003	乾漆、箔押	116.0×91.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第35回日展
61	森の舞踏会	2006	乾漆、箔押	116.0×91.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第38回日展
62	樹神	2000	木芯乾漆立体	53.5×37.0×12.0	安曇野高橋節郎記念美術館	第39回日本現代工芸 美術展
63	望	2003	木芯乾漆立体	43.0×21.5×17.5	安曇野高橋節郎記念美術館	第42回日本現代工芸 美術展
64	デザイン(リン ゴ型皿)		鉛筆、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
65	デザイン(皿)		鉛筆、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
66	デザイン(椀)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
67	デザイン(椀)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
68	デザイン(皿)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
69	デザイン(花 瓶)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
70	デザイン(花 瓶)		水彩、紙	38.5×27.2	安曇野高橋節郎記念美術館	
71	デザイン(皿)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
72	デザイン(ラッ キーセット)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
73	デザイン(レイ ンボー灰皿)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
74	デザイン(灰 皿)		水彩、紙	38.4×54.7	安曇野高橋節郎記念美術館	
75	デザイン(灰 皿、花瓶、時 計付きベット サイドライト)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
76	デザイン(傘の 柄)		水彩、紙	27.2×38.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
77	色彩構成(東京 美術学校入学 前の習作)	1932	水彩、鉛筆、紙	58.0×38.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
78	色彩構成(東京 美術学校入学 前の習作)	1932	水彩、鉛筆、紙	58.0×38.0	安曇野高橋節郎記念美術館	

NO.	作品名	制作年	材質	大きさ (cm)	所蔵先	初出展覧会
79	色彩構成(東京美術学校入学前の習作)	1932	水彩、鉛筆、紙	58.0×38.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
80	東京美術学校課題演習6	1933-1937	鉛筆、水彩、紙	47.0×63.7	豊田市美術館	
81	東京美術学校課題演習7	1933-1937	鉛筆、水彩、紙	46.5×63.7	豊田市美術館	
82	ラッキープレート	1953	化学塗料、鉄	1.1×12.5×10.3	安曇野高橋節郎記念美術館	
83	エッグスタンド	1953	化学塗料、針金	14.0×6.0×5.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
84	ゴールデンデリシャスケーキトレイ / ゴールデンデリシャス	1953	銅箔、化学塗料、鉄	1.3×14.1×11.8	安曇野高橋節郎記念美術館	
85	シルクハット 灰皿 / 灰皿 : シルクハット	1953	化学塗料、鉄	7.6×12.3×10.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
86	クラリネット : ペガ	2005	プラチナ箔みだれ押し	68.3、φ7.5	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
87	クラリネット : アルタイ	2005	プラチナ箔みだれ押し	68.2、φ7.5	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
88	花器	1950年代	木胎漆器	18.2×14.0×6.6	安曇野高橋節郎記念美術館	
89	三角筒花器 / 三角ユニット花器 I	1950年代	木胎漆器	27.3×10.5×9.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
90	深海		モノタイプ(版画)、漆、紙	57.0×84.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
91	洞2	1963	モノタイプ(版画)、漆、紙	55.7×62.6	豊田市美術館	
92	型	1966	モノタイプ(版画)、漆、紙	55.7×82.7	豊田市美術館	
93	ある晴れた日に	1959	エッチング、紙	26.0×15.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
94	風船	1959	エッチング、紙	19.5×13.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
95	恵みは天から降ってくる / はるかなる地平線	1959	エッチング、紙	24.2×13.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
96	サーカスの女	1963	エッチング、紙	18.0×14.0	豊田市美術館	
97	夜の猫		エッチング、紙	15.0×15.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
98	仮題(トルソ)		墨、水彩、紙	34.0×45.0	個人蔵	
99	仮題(古墳)		水彩、鉛筆、紙	17.9×26.0	個人蔵	
100	アルプスの見える街	1984	墨、水彩、紙	95.2×63.8	豊田市美術館	
101	冬晴	1984	墨、水彩、紙	44.4×78.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
102	龍雲	1989	墨、水彩、紙	93.2×184.0	豊田市美術館	
103	暁彩	1992	墨、水彩、紙	45.0×90.0	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
104	高原・秋	1993	墨、水彩、紙	59.8×89.7	安曇野高橋節郎記念美術館	
105	夏草騒ぐ		墨、水彩、紙	54.8×86.3	安曇野高橋節郎記念美術館	
106	仮題(ベニス)		墨、水彩、紙	27.0×38.6	個人蔵	
107	ゴッホの麦畑		墨、水彩、紙	23.1×30.5	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
108	ニース旧市街		墨、水彩、紙	31.0×11.5	(公財) 高橋記念美術文化振興財団	
109	仮題(鳥と少女)		墨、水彩、紙	19.0×13.9	個人蔵	
110	朝日山		墨、水彩、紙	15.0×22.0	安曇野高橋節郎記念美術館	
111	北信濃 新雪		墨、紙	58.5×94.5	安曇野高橋節郎記念美術館	
112	慶雲～孔雀雲～	c. 1991	水彩、紙	49.0×89.5	長野県信濃美術館	長野県松本文化会館 大ホール 綴帳原画
113	作業道具一式				個人蔵	
114	果物と少女	2001	鎔金	21.5×15.5	安曇野高橋節郎記念美術館	

没後70年 池上秀畝・島崎鶏二

池上秀畝(1874-1944)と島崎鶏二(1907-1944)。ともに没後70年となる信州ゆかりの作家の作品を収蔵作品により紹介。花鳥・山水画を得意とした池上秀畝。当館の代表作の一つ《四季花鳥》(四幅対)をはじめ、普段なかなか展示する機会の少ない、制作過程を知る上で貴重な下図や画稿も合わせてご覧いただいた。また文豪・島崎藤村の次男で、二科の精鋭と謳われながらも、37歳という若さでこの世を去った島崎鶏二。2008年の収蔵品展以来、6年ぶりに作品を一堂に紹介した。

- 会期 平成26年6月7日(土)～7月6日(日) (26日間)
- 会場 長野県信濃美術館(小展示室、第1展示室、第2展示室)
- 観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- 入館者数 2,219人(有料:1,640人、無料:579人)
- 担当者 学芸員 石井絵美



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(cm)
池上秀畝					
1	池上秀畝	四季花鳥(春)	1918	紙本彩色、四幅対	239.4×103.5
2	池上秀畝	四季花鳥(夏)	1918	紙本彩色、四幅対	239.4×103.5
3	池上秀畝	四季花鳥(秋)	1918	紙本彩色、四幅対	239.4×103.5
4	池上秀畝	四季花鳥(冬)	1918	紙本彩色、四幅対	239.4×103.5
5	池上秀畝	牡丹に蝶	1919	紙本彩色	170.0×46.5
6	池上秀畝	深山鳴鹿図 小下図	不詳	紙本彩色	34.0×15.3
7	池上秀畝	深山鳴鹿図 大下図	不詳	紙本彩色	253.0×115.0
8	池上秀畝	深山鳴鹿図		絹本彩色	249.5×116.3
9	池上秀畝	秋雨 小下図	1932	紙本墨画	42.0×44.8
10	池上秀畝	秋雨 下図	1932	紙本彩色	各187.6×176.2
11	池上秀畝	画稿	不詳	紙本彩色、墨画	24.8-48.5×34.1-122.8
12	池上秀畝	画稿帳	不詳	紙本彩色、墨画	23.6×66.4
13	池上秀畝	源頭家舞陵王 下図	1944	紙本墨画	60.0×68.0
14	池上秀畝	小楠公影詠 下図	1943	紙本墨画	77.0×87.0
15	池上秀畝	黄柳白鷺	1918	絹本彩色	各169.0×366.0
16	池上秀畝	深林雙鹿 大下図	不詳	紙本彩色	153.0×72.0
17	池上秀畝	画卷	不詳	紙本彩色、墨画	47.3×2039.7
18	池上秀畝	岐蘇川画卷(天・地・人)うち天	1921	紙本彩色	69.0×728.0
19	池上秀畝	画卷	不詳	紙本彩色・墨画	45.0×2322.0
20	池上秀畝	画稿	不詳	紙本彩色・墨画	24.8-48.5×34.1-122.8
21	池上秀畝	挿画原画 漢紀信一死興漢室	不詳	墨・紙	30.0×39.5, 2/18.5×31.7
22	池上秀畝	挿画原画 神苑	1934	墨・紙	54.5×36.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(cm)
23	池上秀畝	池上秀畝印譜張	不詳	紙朱印	16.2×10.7
24	池上秀畝	池上秀畝印譜張 追補	不詳	紙朱印	
その他					
24	馬場哲晃	Freqtric Drums	2004-	ミクストメディア	直径25
島崎鶏二					
5	島崎鶏二	作品名不詳	1941	油絵・カンヴァス	46.0×38.0
6	島崎鶏二	黒衣の婦人	1931	油絵・カンヴァス	115×87.5
7	島崎鶏二	紅衣の女	1931	油絵・カンヴァス	128.5×96.5
8	島崎鶏二	辻	1934	油絵・カンヴァス	129.0×97.0
9	島崎鶏二	犬と娘	1934	油絵・カンヴァス	100×81
10	島崎鶏二	麻衣	1934	油絵・カンヴァス	128.5×97.0
11	島崎鶏二	作品名不詳	1935	油絵・カンヴァス	100×81
12	島崎鶏二	作品名不詳	不詳	油絵・カンヴァス	115×88
13	島崎鶏二	作品名不詳	1937	油絵・カンヴァス	143.5×97.0
14	島崎鶏二	夏	1934	油絵・カンヴァス	144.0×97.5
15	島崎鶏二	夕暮	1939	油絵・カンヴァス	33.4×45.5
16	島崎鶏二	水	1936	油絵・カンヴァス	193.0×129.0
17	島崎鶏二	夕景(北京)	1940	油絵・カンヴァス	60.5×50.0
18	島崎鶏二	弓	1940	油絵・カンヴァス	193.5×105.0
19	島崎鶏二	川辺	1937	油絵・カンヴァス	194.0×252.0
二科展出品作家たち					
20	有島生馬	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
21	林倭衛	婦人像	1922	油彩・板	45.5×38.0
22	林倭衛	裸婦	1925	油彩・カンヴァス	80.3×65.2
23	林倭衛	煙草を加えた自画像	1942-1944	墨・紙	36.5×27.5
24	島崎鶏二	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
25	中山巍	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
26	東郷青児	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
27	野口弥太郎	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
28	児島善三郎	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
29	吉井淳二	林倭衛の肖像	1943	墨・紙	36.5×27.5
30	河野通勢	裾花川風景	1915	インク・紙	29.1×38.3
31	河野通勢	裾花にて	1915	インク・紙	21.8×30.3
32	河野通勢	裾花風景	不詳	鉛筆・紙	19.0×29.0
33	河野通勢	裾花川風景	1915	コンテ・紙	29.1×38.5
34	河野通勢	長野の近郊	1915	油彩・カンヴァス	130.3×193.9
35	中川紀元	猫と女	1921	油彩・カンヴァス	147.0×61.5
36	中川紀元	世界の花		油彩・カンヴァス	各60.5×139.5
37	中川紀元	藤娘	不詳	木版手彩色・紙	50.5×37.5
38	中川紀元	琵琶行(白楽天)	不詳	木版手彩色・紙	50.5×37.5
39	中川紀元	峨眉山月歌(李白)	不詳	木版手彩色・紙	46.0×35.0
40	菊池一雄	坐(二つの三角形)	1964	ブロンズ	h125
41	菊池一雄	裸婦デッサン	不詳	鉛筆・紙	56.7×39.4
42	菊池一雄	裸婦デッサン	1974	鉛筆・紙	51.8×41.8
43	菊池一雄	裸婦デッサン	不詳	鉛筆・紙	54.6×39.4
44	菊池一雄	裸婦デッサン	不詳	鉛筆・紙	27.9×45.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(cm)
45	菊池一雄	裸婦デッサン	不詳	コンテ・紙	28.7×44.2
46	菊池一雄	裸婦デッサン	不詳	鉛筆・紙	28.0×45.5

コレクション展2

一水会の画家たちと信濃美術館コレクション

昭和11年に結成された美術団体の一水会。本展では、小山敬三など一水会を代表する作家の当館所蔵作品を展示。また、特集展示として、一水会の体制が大きく変わった戦後・昭和21年、ともに会員となった、不破章、須山計一、矢崎重信ら3人の画家を取り上げた。

- 会期 平成26年9月11日(木)～23日(火・祝) (12日間)
 ■会場 長野県信濃美術館(第1展示室、第2展示室)
 ■観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
 ※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
 ■入館者数 1,177人(有料 889人、無料 288人)
 ■担当者 学芸員 高田紫帆



No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	大きさ(cm)
一水会創立					
1	石井柏亭	パイプの男	1958	油彩、カンヴァス	80.3×65.1
2	石井柏亭	裸婦	不詳	コンテ、紙	25.5×19.5
3	石井柏亭	裸婦	不詳	コンテ、紙	25.5×19.5
4	石井柏亭	深川木場風景	不詳	木版、紙	24.0×17.5
5	石井柏亭	久世山	不詳	木版、紙	25.5×16.6
6	石井柏亭	上野寛永寺境内	不詳	石版、紙	24.4×17.4
7	有島生馬	春の浅間山	1946	油彩、カンヴァス	61.0×72.5
8	小山敬三	サン・フランソワ寺院内庭	1925	油彩、カンヴァス	101.0×81.0
9	小山敬三	天守閣の一隅(白鷺城)	1956	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
10	小山敬三	盛夏風景	1953	油彩、カンヴァス	80.3×65.2
11	小山敬三	白根火山湖	1963	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
12	小山敬三	牧尾ダム晩夏	1964	油彩、カンヴァス	79.0×98.5
13	小山敬三	冬之浅間山	1967	油彩、カンヴァス	72.8×91.0
公募団体として					
14	横井弘三	天工礼讃	1946	油彩、紙	169.0×345.0
15	中村琢二	伊那谷の春	1979	油彩、カンヴァス	91.0×117.0
16	中村琢二	中仙道(木曽)	1966	油彩、カンヴァス	116.5×91.0
17	中村琢二	木曽路	1964	油彩、カンヴァス	116.5×91.5
18	中村善策	秋	1940	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
19	中村善策	白秋(木崎湖尻農具川)	1972	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
20	中村善策	山湖新雪	1975	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
21	荻原孝一	なごの朝	1966	油彩・カンヴァス	116.9×91.0
22	荻原孝一	天狗岳	不詳	油彩・カンヴァス	112.4×144.7
23	高田誠	妙高暮色	1978	油彩、カンヴァス	90.9×116.7
24	飯田福治	室内	1980	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
25	飯田福治	街並	不詳	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
26	早出守雄	河畔麗日	1968	水彩、紙	75.0×99.0
27	早出守雄	丸山橋	1955	水彩、紙	56.0×75.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	大きさ(cm)
28	篠原昭登	御岳	1994	油彩、カンヴァス	91.0×72.8
29	篠原昭登	朝倉山五月	1990	油彩、カンヴァス	130.0×162.1
特集：不破章、須山計一、矢崎重信					
不破章					
30	不破章	農婦	1961	水彩、紙	69.9×105.5
31	不破章	外房の女	1972	水彩、紙	95.0×127.2
32	不破章	鶏舎	1962	水彩、紙	70.0×105.0
33	不破章	開拓地の女	1963	水彩、紙	69.5×104.5
34	不破章	リュクサンプル新緑	1965	水彩、紙	69.5×104.5
35	不破章	リュクサンプル	1965	水彩、紙	38.0×56.4
36	不破章	木曾路の宿場(三留野)	1968	水彩、紙	77.5×112.5
	作者名	作品名	制作年	技法材質	大きさ(cm)
37	不破章	上州の農家(群馬富岡市外)	1967	水彩、紙	38.0×56.5
38	不破章	信濃初夏(上田大久保)	1969	水彩、紙	49.0×65.2
39	不破章	牛を描く	1973	水彩、紙	37.4×56.5
40	不破章	草上	1975	水彩、紙	95.0×127.3
41	不破章	屏東公園	1973	水彩、紙	37.5×56.6
須山計一					
42	須山計一	労働者	1930	油彩、カンヴァス	116.7×91.0
43	須山計一	裸婦習作	1927	油彩、カンヴァス	65.0×50.0
44	須山計一	少女像	不詳	水彩、紙	51.5×43.2
45	須山計一	風景	1927	油彩、カンヴァス	32.0×40.0
46	須山計一	風景	1927	油彩、カンヴァス	50.0×60.5
47	須山計一	峠のむら	1956	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
48	須山計一	旧道(木曾路)	1952	油彩、カンヴァス	90.9×65.1
49	須山計一	伊那谷初夏	1943	油彩、カンヴァス	72.7×90.9
50	須山計一	諏訪大社田植え祭り	1964	油彩、カンヴァス	73.0×91.5
51	須山計一	奥信濃の火祭り	1967	油彩、カンヴァス	91.5×73.0
52	須山計一	遠山の湯立祭	1967	油彩、カンヴァス	73.0×91.5
矢崎重信					
53	矢崎重信	馬込風景	1931	油彩、カンヴァス	80.4×116.7
54	矢崎重信	木陰	1938	油彩、カンヴァス	112.2×162.1
55	矢崎重信	まりつき	1937	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
56	矢崎重信	雷雲のハケ岳	1954	油彩、カンヴァス	27.3×41.0
57	矢崎重信	『信濃の子供』原画1 霧ヶ峰(表紙)	1943	水彩、紙	28.5×38.5
58	矢崎重信	『信濃の子供』原画2 諏訪神社	1943	水彩、紙	28.5×38.5
59	矢崎重信	『信濃の子供』原画3 十四日祭	1943	水彩、紙	28.5×38.5
60	矢崎重信	『信濃の子供』原画4 三九郎焼き	1943	水彩、紙	38.5×28.5
61	矢崎重信	『信濃の子供』原画5 紙漉く村	1943	水彩、紙	28.5×38.5
62	矢崎重信	『信濃の子供』原画6 安曇野の田植	1943	水彩、紙	28.5×38.5
63	矢崎重信	『信濃の子供』原画7 木曾馬	1943	水彩、紙	28.5×38.5
64	矢崎重信	『信濃の子供』原画8 共同炊事	1943	水彩、紙	28.5×38.5
65	矢崎重信	『信濃の子供』原画9 勤労奉仕	1944	水彩、紙	28.5×38.5
66	矢崎重信	『信濃の子供』原画10 繭かき	1943	水彩、紙	28.5×38.5
67	矢崎重信	『信濃の子供』原画11 小菅神社	1943	水彩、紙	38.5×28.5
	著者ほか	書名	発行年	その他	

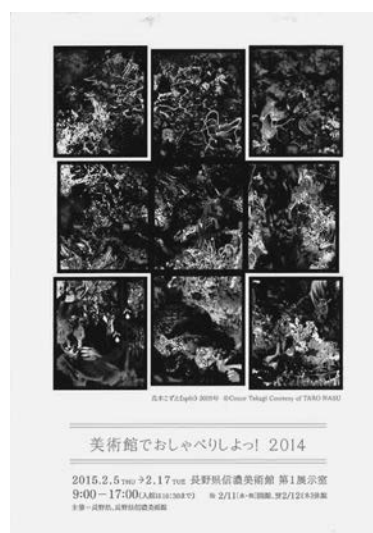
No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	大きさ(cm)
資料					
68	諸田盛男、 須山計一	『信濃の祭り』	1973	復刻版（初版：1947年）	
69	長野縣農會発行	『信濃の子供 上』	1944	作画：矢崎重信	

美術館でおしゃべりしよっ！2014

—絵をみて話そう みんなで話そう—

当館所蔵の作品の中から池田満寿夫や高木こずえなどの作品を38点展示した。作品をより身近に楽しんでもらうために質問カードをつけ、ギャラリートークも開催した。

- 会期 平成27年2月5日(木)～2月17日(火) (12日間)
 ■会場 長野県信濃美術館(第1展示室)
 ■観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
 ※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
 ■入館者数 1,274名(有料 903人 無料 371人)
 ■担当者 学芸員 木内真由美、土屋晴佳



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(cm)
不思議な感覚					
1	ルイス・ニシザワ	我が母の夢	1950	混合、ファイバーセル	61.0×92.0
2	中島千波	白虹	1972	紙本彩色	175.0×220.0
3	中島千波	欲望	1970	紙本彩色	220.0×170.0
4	飯田昭二	自己投影1	2007	ミクストメディア(鳥カゴ、石膏による球、鏡)	30×30×H30
5	飯田昭二	自己投影2	2007	ミクストメディア(鳥カゴ、ハイヒール、鏡)	37×37×H37
6	馬場哲晃	Freqtric Drums	2004-	ミクストメディア	直径25
色に注目					
7	オノサト・トシノブ	シルク—10	1967	シルクスクリーン、紙	50.0×50.0
8	オノサト・トシノブ	シルク—48	1971	シルクスクリーン、紙	50.0×49.8
9	オノサト・トシノブ	シルク—72	1975	シルクスクリーン、紙	60.6×72.0
10	薺嘯	Rainbow	1976	シルクスクリーン、紙	50.0×69.5
11	薺嘯	Clouds	1976	シルクスクリーン、紙	49.7×69.9
12	薺嘯	Hearts	1976	シルクスクリーン、紙	48.0×43.5
形に注目					
13	草間彌生	No. PZ	1960	油彩、カンヴァス	269.2×177.8
14	草間彌生	南瓜	1986	セリグラフ、紙	90.5×72.2

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ (cm)
15	高木こずえ	split	2009	タイプ C プリント (9点で一組、18点組)	各280.8×235.8 (9点で一組)
16	高木こずえ	hoshi01	2011	タイプ C プリント	83.5×83.5
17	高木こずえ	tsuki	2011	タイプ C プリント	30.0×30.0
18	高木こずえ	h01	2011	タイプ C プリント	60.0×60.0
19	高木こずえ	ki	2011	タイプ C プリント	66.0×66.0
20	高木こずえ	sajiki	2011	タイプ C プリント	93.0×21.0
21	高木こずえ	kawagoshi01	2011	タイプ C プリント	30.0×20.4
22	高木こずえ	ko06	2011	タイプ C プリント	43.0×32.3
23	幾嘯	レインボールームの中の一匹の虫 (a~d)	1969	オフセット、シルクスクリーン、紙	各18.2×18.2 in 18.2×18.2
24	福田繁雄	正3面体の展開図	1969	平凹版、紙	15.0×15.0 in 20.0×20.0
25	野田哲也	日記1969年2月28日	1969	木版、シルクスクリーン、紙	14.9×15.0 in 19.9×19.9
26	永井一正	変点	1969	凸版、オフセット、紙	16.5×17.1 in 19.9×19.9
違いに注目1~同じアーティスト？					
27	池田満寿夫	飛行空間 B	1957	エッチング アクアチント	画面寸法32.8×13.0 用紙寸法49.2×32.5
28	池田満寿夫	海のスカート	1965	ドライポイント、エッチング、ルーレット、紙	36.0×34.0
29	池田満寿夫	姉妹たち	1965	ドライポイント ルーレット エッチング	36.2×34.0
30	池田満寿夫	貝を持つヴィナス	1975	メゾチント	画面寸法40.5×30.3 用紙寸法59.6×45.3
31	池田満寿夫	SAYOKO の肖像	1978	ドライポイント ルーレット	36.3×24.0
32	池田満寿夫	仮面	1980	ドライポイント アクアチント	36.3×29.8
33	池田満寿夫	見つめ合う鳥	1989	リトグラフ	65.2×50.2
34	池田満寿夫	パイオリニスト	1995	リトグラフ	54.1×44.0
35	池田満寿夫	人間のすべて -I	1997	リトグラフ	44.6×33.0
違いに注目2~共通テーマ「ひと」					
36	河野通勢	自画像	1918	コンテ、紙	31.1×23.4
37	石井柏亭	パイプの男	1958	油彩、カンヴァス	80.3×65.1
38	藤松博	人	1962	油彩、カンヴァス	160.0×130.9

涼みの工芸

当館では陶芸、染色、漆芸、金工、木工など、幅広い分野の工芸作品を収蔵している。本展では、収蔵する工芸作品の中から、秋涼を彩る作品23点を展示した。

■会期 平成26年8月31日(日)～9月7日(日)／9月11日(木)～9月23日(火・祝) (19日間)

■会場 長野県信濃美術館(小展示室)

■観覧料 共通

■担当者 学芸員 石井絵美、伊藤仁美



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(cm)
1	武田成功	春一葉	不詳	ガラス	35.2×18.7×16
2	武田成功	萌芽	不詳	ガラス	18×12×29
3	武田成功	花風姿	不詳	ガラス	23.5×18×20
4	武田成功	凜花	不詳	ガラス	13.5×11.5×30
5	武田成功	芽の音	不詳	ガラス	26.5×16×18.5
6	武田成功	春紅葉	不詳	ガラス	28×16×12.5
7	武田成功	春薄氷	不詳	ガラス	38.5×36.5×15
8	武田成功	紫峰連山	不詳	ガラス	43.0×43.0×16.8
9	武田成功	蒼昏	不詳	ガラス	33.5×32.5×30.0
10	武田成功	春里山	不詳	ガラス	22.0×18.5×26.5
11	武田成功	夏山野	不詳	ガラス	30.0×13.2×28.2
12	武田成功	秋燃え	不詳	ガラス	28.0×14.0×24.3
13	熊谷好博子	友禅染訪問着・海の譜	1980年	江戸友禅	丈：182.0/ 裾：66.0
14	熊谷好博子	友禅染訪問着・樹叢	1972年	江戸友禅	丈：170.5/ 裾：64.5
15	熊谷温	友禅染訪問着・静	1981年	江戸友禅	丈：173.0/ 裾：65.0
16	江副行昭	冠雪と新緑	1997年	熔壊和ガラス	24.2×18.7
17	杉田禾堂	青銅三足香炉	1955年	鑄金	高14.0/ 径11.0
18	松井康成	練上華文香炉	1991年	陶器	高9.8/ 径12.6
19	松井康成	萃瓷練上香炉	1992年	陶器	高8.0/ 径12.0
20	松井康成	練上玻璃光香炉	2000年	陶器	高11.2/ 径8.8
21	松井康成	練上深鉢「湖岸の風」	1975年	陶器	高41.0/ 径28.0
22	水野英男	碧釉大皿	2002年	陶器	高9.0/ 径44.0
23	水野英男	鉄釉華紋皿	1979年	磁器	径48.5

信美スタッフおすすめ作品展

今年で3年目となる本展では、「練上手」で人間国宝となった松井康成や、当館でパーフェクトコレクションを所蔵する池田満寿夫の版画など22点を展示した。

- 会期 平成27年1月17日(土)～1月25(日)/1月31日(土)～2月3日(火)/2月5日(木)～2月17日(火) (24日間)
 ■会場 長野県信濃美術館(第小展示室)
 ■観覧料 共通
 ■担当者 学芸員 高田紫帆、土屋晴佳



No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(cm)
【人間国宝】松井康成					
1	松井康成	重層象裂瓷大壺「山かげの灯」	1981	陶器	高33.0/ 径33.0
2	松井康成	練上嘯裂文壺「ピタゴラスの崩壊」	1979	陶器	高21.0/ 径26.5
3	松井康成	晴白練上陶篋	1989	陶器	H13.6/W22.7/D16.1
4	松井康成	練上玻璃光壺	2002	陶器	高25.0/ 径27.2
【日本画】菱田春草、横山大観、西郷孤月					
5	菱田春草	寂静	1910頃	絹本彩色	107.0×42.0
6	菱田春草/(横山大観)	(布袋)・寿老図	1903頃	絹本彩色	各126.2×42.1
7	(菱田春草)/横山大観	布袋・(寿老図)	1903頃	絹本彩色	126.2×42.1
8	菱田春草/(西郷孤月)	春秋(春の野・湖畔の夕)うち湖畔の夕	不詳	絹本彩色	各107.0×36.5
9	(菱田春草)/西郷孤月	春秋(春の野・湖畔の夕)うち春の野	不詳	絹本彩色	107.0×36.5
【新版画】川瀬巴水、伊東深水、吉田博、笠松紫浪					
10	川瀬巴水	信州松原湖	1941	木版、紙	24.3×36.5
11	川瀬巴水	木曾の須原	1925	木版、紙	20.8×28.5
12	伊東深水	信濃十景 小諸路の暮雪	1948	木版、紙	25.8×36.3
13	伊東深水	信濃十景 上林の朝	1948	木版、紙	25.7×36.3
14	吉田博	剣山の朝	1926	木版、紙	37.0×24.9 in 41.0×27.5
15	吉田博	駒ヶ岳山頂より	1928	木版、紙	24.5×37.7 in 24.7×37.8
16	笠松紫浪	信州上林	1938	木版、紙	24.2×36.2 in 26.6×39.3
17	笠松紫浪	花吹雪(上林温泉)	1939	木版、紙	24.0×36.1
【干支】池田満寿夫					
18	池田満寿夫	馬	1990	リトグラフ	51.0×40.3
19	池田満寿夫	羊	1990	リトグラフ	50.9×40.1
20	池田満寿夫	母子猿	1992	リトグラフ	52.2×34.6
21	池田満寿夫	にわとり	1993	リトグラフ	51.3×42.0
22	池田満寿夫	戌	1994	リトグラフ	52.6×41.9

新収蔵作品展

1966年(昭和41)の開館以来、長野県信濃美術館では郷土ゆかりの作家と信州の風景画を中心に作品を収集してきた。本展覧会では、今年度新たに収蔵された作品を、いち早く紹介した。

- 会期 平成27年2月22日(日)～3月1日(日)／3月3日(火)～3月8日(日)／3月15日(日)～3月21日(土) (18日間)
- 会場 長野県信濃美術館(第小展示室)
- 観覧料 共通
- 担当者 学芸員 渡邊美保



No.	作家名	作品名	制作年(西暦)	制作年(和暦)	技法・材質	形状	大きさ (cm)	初出展覧会	備考
1	神津港人	夏(いんこ鳥)	1929年	昭和4年	油彩・カンヴァス	額装	77.8×81.0	構造社展	平成26年度寄贈
2	神津港人	仙女曼陀羅	1958年	昭和33年	油彩・カンヴァス	額装	180×270	第29回第一美術展	平成26年度寄贈
3	神津港人	無題	制作年不詳		紙本銀地油彩	二曲一隻屏風	152.3×151.4		平成26年度寄贈
4	矢沢弦月	新秋(海)	1920年	大正9年	絹本彩色	軸装	216.5×100.5	第2回帝展	昭和53年度購入
	矢沢弦月	新秋(山)	1920年	大正9年	絹本彩色	軸装	215.0×100.5	第2回帝展	平成26年度購入
	矢沢弦月	新秋(里)	1920年	大正9年	絹本彩色	軸装	215.0×115.0	第2回帝展	平成26年度購入
5	町田曲江	朝顔図	1943年	昭和18年	紙本彩色	軸装	63.5×70.5	第6回新文展	平成26年度寄贈
6	河野通勢	無題	1917年	大正6年	紙・インク	まくり	19.3×29.0		平成26年度寄贈
7	河野通勢	無題	1917年	大正6年	紙・インク	まくり	19.1×29.7		平成26年度寄贈
8	河野通勢	無題	1917年	大正6年	紙・インク	まくり	19.3×29.0		平成26年度寄贈
9	河野通勢	無題	1918年	大正7年	紙・インク	まくり	29.2×14.3		平成26年度寄贈
10	河野通勢	無題	制作年不詳		紙・インク	まくり	20.2×25.8		平成26年度寄贈
11	河野通勢	無題	1916年	大正6年	紙・インク	まくり	19.1×28.8		平成26年度寄贈
12	河野通勢	無題	制作年不詳		紙・鉛筆	まくり	28.5×28.3		平成26年度寄贈
13	河野通勢	無題	1916年	大正6年	紙・インク	まくり	29.4×19.3		平成26年度寄贈

緑の樅の木

年間テーマは「六本の色鉛筆」の第Ⅰ期として「緑の樅の木」を開催。人気の《緑響く》や《緑の窓》など、緑を基調とした、新緑の季節にふさわしい作品を約80点展示した。

- 会期 平成26年4月3日(木)～5月27日(火) (49日間)
 ■会場 東山魁夷館
 ■観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
 ※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
 イベント おしゃべりさんぽ
 4月5日(土)、4月19日(土)、5月10日(土)、5月24日(土)
 各回とも11:00～(30分程度)
 ■入館者数 14,822人(有料:9,941人、無料:4,881人)
 ■担当者 学芸員 伊藤羊子・伊藤仁美



No.	作品名	制作年	分類	取材地
初期スケッチほか				
1	ベルリンの街	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	ドイツ ベルリン
2	ゲオルクの泉	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	ドイツ ローテンプルク
3	モンブラン遠望	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	スイス
4	ジュネーヴにて	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	スイス ジュネーヴ
5	モンマルトルにて	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	パリ モンマルトル
6	承德の春	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
7	町角	1943	中国風景スケッチ	中国
8	『六本の色鉛筆』カット	1976	カット・その他	
北欧風景				
9	ウプサラ風景	1962	北欧風景スケッチ	スウェーデン ウプサラ
10	フレデリク城を望む	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク ヒレロード
11	さざなみ	1962	北欧風景スケッチ	フィンランド プンカハルユ
12	ヴィラットの運河	1962	北欧風景スケッチ	フィンランド ヘルシンキ
13	牡丹図	1927	本制作	東京都 下落合
14	『窓』・その他のカットと屏絵	1971	カット・その他	
15	沼	1993	本制作	長野県 戸隠
16	川端康成著『たんぽぽ』箱装画	1972	カット・その他	
連作「京洛四季」				
17	門	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都府 常照皇寺
18	東福寺庭	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都府 東福寺
19	春静	1964～1966	連作「京洛四季」習作	京都府 鷹ヶ峰
20	龍安寺堀	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都市 龍安寺
21	三玄院露地	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都府 大徳寺
22	花明り	1964～1966	連作「京洛四季」習作	京都府 円山公園
23	行く春	1964～1966	連作「京洛四季」習作	京都府 祇王寺
24	年経る樹	1964～1966	連作「京洛四季」習作	京都市 青蓮院
25	月篁	1964～1966	連作「京洛四季」習作	京都府 嵯峨野
ドイツ・オーストリアの旅				
26	揺れる窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ リューベック
27	野の花	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ オーバー・ゼー
28	ティロルの窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ザンクト・アントン
29	描かれた壁	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ロイテ
30	祭りの日	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ フライブルク
31	ミラベル宮廷園	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ザルツブルク
32	緑の園	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	
33	居酒屋	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア デュルンシュタイン
34	緑の窓	1983	本制作	オーストリア インスブルック
連作「古都を描く」				

No.	作品名	制作年	分類	取材地
35	緑のハイデルベルク	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ハイデルベルク
36	泉	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ローテンブルク
連作“白い馬の見える風景”				
37	草青む	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	デンマーク ヒレロード
38	水辺の朝	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	ドイツ北部 オイティーン
39	湖澄む	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	ドイツ オーバー・ゼー
40	緑響く	1982	本制作	長野県 茅野市 蓼科高原
第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作				
41	流れる霧	1973	「山」スケッチ	
42	緑の溪	1973	「山」スケッチ	
43	煙雨	1973	「山」スケッチ	
44	緑峽	1973	「山」スケッチ	
45	沼の静寂	1983	本制作	デンマーク コペンハーゲン
46	深い谿	1973	「山」スケッチ	
47	瀧の音	1973	「山」スケッチ	
48	雲湧く嶺	1973	「山」スケッチ	
49	山雲試作1~4	1974	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	
50	山雲	1973	「山」スケッチ	
51	霧深き谷	1973	「山」スケッチ	
大和春秋				
52	朝の塔	1973~1985	大和春秋スケッチ	奈良県 興福寺
53	吉野の春	1973~1985	大和春秋スケッチ	奈良県 吉野
54	春日野朝霧	1973~1985	大和春秋スケッチ	奈良県 春日野
55	室生の塔	1973~1985	大和春秋スケッチ	奈良県 室生寺
56	古陵薄明	1973~1985	大和春秋スケッチ	奈良県 箸墓
第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作				
57	樅の木 A	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	
58	海風	1973	「海」スケッチ	
59	渚にて	1973	「海」スケッチ	
60	濤声1/5中下図	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	
61	青濤	1973	「海」スケッチ	
62	松濤	1973	「海」スケッチ	
日展のための準備作				
63	月篋 A	1966	第10回日展のための準備作スケッチ	京都府 嵯峨野
64	月篋 B	1966	第10回日展のための準備作スケッチ	京都府 嵯峨野
65	月篋スケッチ C	1966	第10回新日展のための準備作	京都府 嵯峨野
66	青響大下図	1960	第3回新日展のための準備作	福島県 福島市 土湯峠
67	月篋スケッチ D	1966	第10回新日展のための準備作	京都府 嵯峨野
68	月篋スケッチ E	1966	第10回新日展のための準備作	京都府 嵯峨野
69	月篋大下図	1967	第10回新日展のための準備作	京都府 嵯峨野
第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作				
70	北京新緑	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 北京
71	池畔	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
72	長城に登る	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
73	華清池	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 西安
74	揚州所見	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 揚州
75	金太郎	1949	色紙	
76	春野	1945	色紙	
77	煙雨	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
78	瘦西湖	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 揚州
79	太湖帆影	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 太湖
80	朝	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 太湖
81	太湖の朝	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 太湖

黒い空

第Ⅱ期「黒い空」では、60歳を超えてから挑んだ第一期唐招提寺障壁画で本格的に取り組んだ、水墨画や黒い顔彩を使用した作品を中心に、東山作品では珍しい六曲一双の屏風《瀬江暮色》など、中国に取材した作品など約80点を展示した。

- 会期 平成26年5月29日(木)～7月29日(火) (52日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- イベント おしゃべりさんぽ
6月7日(土)、6月21日(土)、7月5日(土)、7月19日(土)
各回とも11:00～(30分程度)
- 入館者数 10,748人(有料:8,073人、無料:2,675人)
- 担当者 学芸員 伊藤羊子・伊藤仁美



No.	作品名	制作年	分類	取材地
初期スケッチほか				
1	自画像	1923	油彩	
2	長野の家	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	長野県 長野市
3	雨の日	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	長野県 長野市
4	塩名田の家	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	長野県 佐久市
5	街道の家	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	長野県
6	小諸の家	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	長野県 小諸市
7	柿生の里	1928	本制作	神奈川県 川崎市 柿生
北欧風景				
8	山かげの湖	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー
9	海に入る滝	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー
10	フィヨルドの滝	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー フィヨルド
11	コペンハーゲンの街	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク コペンハーゲン
12	夏の道	1962	北欧風景スケッチ	フィンランド ヴィラット
唐招提寺への道				
13	朝雲	1973	「山」スケッチ	
14	深山の樹	1973	「山」スケッチ	
15	山雲1/5中下図	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	
連作「京洛四季」				
16	夏に入る	1964～1966	連作「京洛四季」習作	京都府 大山崎町
17	寺の塀	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都府 大徳寺
18	三宝院唐門	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都市 醍醐寺
19	宵山	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都市 鉾町
20	祇園まつり	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都市 山鉾巡行
21	魚鐸	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都府 海宝寺
22	あぶり餅	1964～1966	連作「京洛四季」スケッチ	京都市 今宮神社
ドイツ・オーストリアの旅				
23	古いガラス絵	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ツェレ
24	バンベルクにて	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ バンベルク
25	デューラーの家より	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ニュールンベルク
26	花のある窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ
27	午後の窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア オーベルンドルフ
28	穀倉	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ディンケルスビュール
連作「古都を描く」				
29	ニュールンベルクの窓	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ニュールンベルク
30	窓明り	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ リューベック
31	桂林月夜	1976	本制作	中国 桂林

No.	作品名	制作年	分類	取材地
32	古都遠望	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ヴィムプヘン
33	ローテンブルクの門	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ローテンブルク
連作“白い馬の見える風景”				
34	夕明り	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	長野県 下諏訪町 八島湿原
35	渚の白馬	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	石川県 千里浜海岸
36	黄山雨過	1978	本制作	中国 黄山
「黄山白雲」				
37	蕪湖の古塔	1978	「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
38	蓬萊三島	1978	「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
39	黄山曉雲試作	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作	中国 黄山
40	黄山旭日	1978	「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
「黄山白雲」				
41	上昇峰を望む	1978	「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
42	天女花	1978	「黄山白雲」スケッチ	中国 黄山
43	瀧江暮色	1978	本制作	中国 桂林
「大地悠々」				
44	桂林大観	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 桂林
45	万山水明	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
46	桂林奇峰	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 桂林
47	瀧江満々	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 瀧江
48	瀧江の朝	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 瀧江
49	山峡の月	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
50	孤帆	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
51	瀧江千里	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 瀧江
52	桂林月宵試作	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作	中国 桂林
53	水光	1976	「大地悠々」スケッチ	中国
54	瀧江漁火	1976	「大地悠々」スケッチ	中国 瀧江
日展のための準備作				
55	道スケッチ A	1950	第6回日展のための準備作	青森県 種差海岸
56	道スケッチ B	1950	第6回日展のための準備作	青森県 種差海岸
57	道スケッチ C	1950	第6回日展のための準備作	青森県 種差海岸
58	道スケッチ D	1950	第6回日展のための準備作	青森県 種差海岸
59	道小下図	1950	第6回日展のための準備作	青森県 種差海岸
大和春秋				
60	萱生にて	1973～1985	大和春秋スケッチ	奈良県 萱生
61	松と月	1973～1985	大和春秋スケッチ	奈良県
62	唐招提寺月明	1973～1985	大和春秋習作	奈良県 唐招提寺
63	揚州薫風試作	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作	中国 揚州
「天山遙か」				
64	天山遙か	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
65	草原放牧	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
66	競馬場に向う人々	1977	「天山遙か」スケッチ	中国
67	男女の馬競べ	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
68	セリム湖にて	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
69	セリム湖畔	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
70	セリム湖月夜	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
71	パオの子供	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
72	カザフ族の少女達	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
73	帰路につく人々	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域
74	ぶどう棚の下で	1977	「天山遙か」スケッチ	中国 西域

青いライン

第Ⅲ期のテーマは“青”。東山の代名詞でもある青をテーマに、代表作《白馬の森》を中心に、15歳の東山が描いた《自画像》から、絶筆となった《夕星》まで、東山の画業のはじめと終わりをみる事の出来る作品を中心に、約70点を展示した。

- 会期 平成26年7月31日(木)～10月7日(火) (61日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- イベント おしゃべりさんぽ
8月2日(土)、8月23日(土)、9月6日(土)、9月20日(土)
各回とも11:00～(30分程度)
- 入館者数 17,860人(有料:14,923人、無料:2,937人)
- 担当者 学芸員 伊藤羊子・伊藤仁美



No.	作品名	制作年	分類	取材地
初期スケッチほか				
1	自画像	1923	油彩	
2	六甲裏山にて	1923	スケッチ	兵庫県 神戸市
3	遠望(海上より)	1935～1945	スケッチ	
4	夏の日	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	長野県
5	薄暮	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	
6	夕影(バイエルン地方南ドイツ)	1933～1935	スケッチ	ドイツ南部
7	頤和園にて	1943	中国風景スケッチ	中国 北京
8	古北口にて	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
9	長城を望む	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
10	喇嘛塔	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
11	祭りの夜	1929	本制作	東京都 靖国神社
12	山谿秋色	1932	本制作	長野県 志賀高原
北欧風景				
13	白夜	1962	北欧風景スケッチ	スウェーデン ノルディングロー
14	森のささやき	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク フレーデンスボー
15	フレーデンスボーの森	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク フレーデンスボー
16	青い沼	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク
17	湖上の城	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク
18	倉庫	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク コペンハーゲン
19	二つの月	1962	北欧風景スケッチ	フィンランド ヘルシンキ
20	白夜光	1962	北欧風景習作	フィンランド クオピオ
連作“京洛四季”				
21	青い峡	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 周山街道
22	千灯会	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 念仏寺
23	あだし野	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 化野念仏寺
24	夕涼	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 修学院離宮西浜
25	池澄む	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 天竜寺
26	夏深む	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 勧修寺
連作“白い馬の見える風景”				
27	白馬の森小下図	1972	改組第4回日展のための準備作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
28	白馬の森	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
29	白馬の森	1972	本制作	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
30	水辺の朝	1972	本制作	ドイツ北部 オイティーン
31	緑響く	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	長野県 茅野市 蓼科高原
32	樹霊	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	山梨県
33	綿雲	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	山梨県
ドイツ・オーストリアの旅				

No.	作品名	制作年	分類	取材地
34	青い窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ
35	憩いの窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ローテンブルク
36	フライブルクにて	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ フライブルク
37	聖堂の中	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ディンケルスビュール
38	鐘楼の窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア
39	夕静寂スケッチ	1974	改組第6回日展のための準備作	長野県 岐阜県 奥穂高
40	夕静寂小下図	1974	改組第6回日展のための準備作	長野県 岐阜県 奥穂高
41	夕静寂	1974	本制作	長野県 岐阜県 奥穂高
大和春秋				
42	布留の森	1973～1985	大和春秋スケッチ	奈良県 天理市 布留
43	飛火野	1973～1985	大和春秋スケッチ	奈良県 飛火野
連作「古都を描く」				
44	朝の聖堂	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ リンブルク
45	晩鐘	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ フライブルク
46	みづうみ	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ オーバー・ゼー
47	青きドナウ	1969	連作「古都を描く」習作	オーストリア メルク
第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作				
48	渚の波紋	1973	「海」スケッチ	
49	浜に寄せる波	1973	「海」スケッチ	
50	満ちくる潮	1973	「海」スケッチ	
51	夕星	1999	本制作	長野県 長野市 花岡平霊園
52	潮満つ	1973	「海」スケッチ	
53	潮声	1973	「海」スケッチ	
54	荒磯	1973	「海」スケッチ	
55	岩礁	1973	「海」スケッチ	
56	松と岩	1973	「海」スケッチ	
57	朝濤	1973	「海」スケッチ	
58	潮騒	1973	「海」スケッチ	
59	濤声試作1～3	1974	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	
日展のための準備作				
60	光昏最初のプラン	1954	第11回日展のための準備作	長野県信濃町 野尻湖 黒姫山／神奈川県 箱根町 姥子
61	光昏スケッチ A	1954	第11回日展のための準備作	長野県信濃町 野尻湖 黒姫山
62	光昏スケッチ B	1954	第11回日展のための準備作	神奈川県 箱根町 姥子
63	光昏スケッチ C	1954	第11回日展のための準備作	神奈川県 箱根町 姥子
64	光昏スケッチ D	1954	第11回日展のための準備作	神奈川県 箱根町 姥子
65	光昏小下図	1955	第11回日展のための準備作	長野県信濃町 野尻湖 黒姫山／神奈川県 箱根町 姥子
66	光昏大下図	1955	第11回日展のための準備作	長野県信濃町 野尻湖 黒姫山／神奈川県 箱根町 姥子
『新潮』表紙				
67	1月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
68	2月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
69	3月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
70	4月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
71	5月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
72	6月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
73	7月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
74	8月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
75	10月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	
76	11月号表紙	1955	雑誌『新潮』表紙原画	

茶色の落葉

第Ⅳ期の「茶色の落葉」では秋を描いた作品を中心に、《紅葉の谷》や《行く秋》といった作品を展示し、美術館周辺の風景とともに楽しみいただいた。

- 会期 平成26年10月9日(木)～12月2日(火) (48日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- イベント おしゃべりさんぽ
10月18日(土)、10月25日(土)、11月1日(土)、11月15日(土)
各回とも11:00～(30分程度)
- 入館者数 13,868人(有料:9,847人、無料:4,021人)
- 担当者 学芸員 伊藤羊子・松浦千栄子



No.	作品名	制作年	分類	取材地
初期スケッチほか				
1	サンマルコ寺院(ベニスにて)	1933～1935	スケッチ	イタリア
2	夕映(十国峠富士)	1935～1945	スケッチ	神奈川県 箱根
3	承德所見 A	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
4	承德所見 B	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
5	承德所見 C	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
6	承德所見 D	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
7	承德所見 E	1943	中国風景スケッチ	中国 承德
8	紅葉の谷	1952	本制作	不明
北欧風景				
9	運河沿いの街	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク
10	エルシノアの街	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク エルシノア
11	古い壁	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク
12	リーベの家	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク
13	古き町にて	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク
14	倉庫	1963	本制作	デンマーク コペンハーゲン
15	秋思	1988	本制作	奈良県 天理市
連作“京洛四季”				
16	一力	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都市 祇園
17	桂離宮書院	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 桂離宮
18	伏見の酒倉	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 伏見
19	蔦もみじ	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 大河内山荘
20	散り紅葉	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 光悦寺
21	街道の家	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都市 鳥羽街道
22	京の民家	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 伏見
23	初紅葉	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 大徳寺高桐院
24	照紅葉	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 梶尾高山寺石水院
25	谿紅葉	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 芹生峠
26	秋寂び	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 光悦寺
27	夕紅	1996	本制作	デンマーク
連作“白い馬の見える風景”				
28	森装う	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	長野県 長野市
29	芒野	1972	連作“白い馬の見える風景”習作	ヨーロッパ
30	木枯らし舞う	1997	本制作	ドイツ北部
ドイツ・オーストリアの旅				
31	町角	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ヴィムブヘン
32	リュードスハイムにて	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ リュードスハイム
33	木組みの家	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ

No.	作品名	制作年	分類	取材地
34	静かな町	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ヴィムブヘン
35	人形芝居の小屋	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ
36	明るい壁	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ルスト
37	霧の街	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ リューベック
38	古道具屋の窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ リューベック
39	骨董屋	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア
40	マリアの壁	1969	連作「古都を描く」習作	オーストリア エッツ
41	狭い空	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ バンベルク
42	行く秋習作	1990	改組第22回日展のための準備作	ドイツ北部
43	行く秋	1990	本制作	ドイツ北部
44	夕べの聖堂	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ北部 リンブルク
45	赤い屋根	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ローテンブルク
大和春秋				
46	赤目晩秋	1973～1985	大和春秋習作	三重県 名張市
47	酒造りの家	1973～1985	大和春秋習作	奈良県 三輪山
48	柿の木と白壁の家	1973～1985	大和春秋習作	奈良県
49	石佛	1973～1985	大和春秋習作	奈良県
50	「野草」カット	1977	カット・その他	
日展のための準備作				
51	霧小下図 ABC	1951	第7回日展のための準備作	山梨県 山中湖畔
52	霧スケッチ AB	1951	第7回日展のための準備作	山梨県 山名湖畔
53	霧大下図 A	1951	第7回日展のための準備作	山梨県 山名湖畔
54	霧大下図 B	1951	第7回日展のための準備作	山梨県 山名湖畔
55	秋翳スケッチ A	1957	第1回日展のための準備作	群馬県 新治村 法師温泉
56	秋翳スケッチ B	1957	第1回日展のための準備作	群馬県 新治村 法師温泉
57	秋翳スケッチ C	1957	第1回日展のための準備作	群馬県 新治村 法師温泉
58	秋翳小下図 A	1957	第1回日展のための準備作	群馬県 新治村 法師温泉
59	秋翳小下図 B	1957	第1回日展のための準備作	群馬県 新治村 法師温泉
60	秋翳大下図	1957	第1回日展のための準備作	群馬県 新治村 法師温泉
第二期唐招提寺障壁画準備作 「天山遥か」				
61	高昌城址	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
62	古城遠望	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国
63	交河城址	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
64	黄昏	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
65	火焰山	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
66	廃墟の晝	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
67	廃墟の夕	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
68	廃墟の幻想 A	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
69	廃墟の幻想 B	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
70	廃墟の幻想 C	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
71	天山の印象 A	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
72	天山の印象 B	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
73	家路	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
74	ホータン所見	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
75	砂漠を往く	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域
76	夕映	1977	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	中国 西域

白い聖夜

第Ⅴ期の「白い聖夜」では、《聖夜》や《冬の旅》など雪景色や冬の自然を美しさを描いた作品を中心に展示し、周辺の景色とともに楽しめいただいた。

- 会期 平成26年12月4日(木)～2月3日(火) (50日間)
 ■会場 東山魁夷館
 ■観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
 ※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
 イベント おしゃべりさんぽ
 12月20日(土)、12月27日(土)、1月3日(土)、1月17日(土)、2月7日(土)
 各回とも11:00～(30分程度)
 ■入館者数 4,834人(有料:3,281人、無料:1,553人)
 ■担当者 学芸員 伊藤羊子・松浦千栄子



No.	作品名	制作年	分類	取材地
初期スケッチほか				
1	ゲーテのガルテンハウス	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	ドイツ ワイマール
2	ワイマールにて	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	ドイツ ワイマール
3	レーダー門	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	ドイツ ローテンブルク
4	ジュネーヴの街角	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	スイス、ジュネーヴ
5	キューザの町	1933～1935	ヨーロッパ風景スケッチ	イタリア キューザ
6	黎明(バイエルン地方南ドイツ)	1933～1935	スケッチ	ドイツ バイエルン地方
7	「瑞光」試作	1980	唐招提寺鑑真和上像厨子絵のための準備作	鹿児島県 坊津町 秋目浦
東北・信州の旅スケッチ				
8	雪国	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	不明
9	雪国の家	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	不明
10	雪の山村	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	不明
11	薄暮	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	不明
雪の城				
12	ホーエン・ザルツブルク城	1969	連作「古都を描く」習作	オーストリア ザルツブルク
13	雪の城スケッチ	1970	改組第2回日展のための準備作	オーストリア ザルツブルク
14	雪の城	1969	連作「古都を描く」習作	オーストリア ザルツブルク
15	雪の城大下図 A	1970	改組第2回日展のための準備作	オーストリア ザルツブルク
16	雪の城大下図 B	1970	改組第2回日展のための準備作	オーストリア ザルツブルク
京洛四季				
17	松尾神社にて	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 嵐山
18	冬の庭	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 修学院離宮
19	深雪	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 東山
20	修学院雪庭	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 修学院離宮
21	雪の石庭	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 竜安寺
22	北山初雪	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 周山街道
23	冬の旅小下図	1989	改組第21回日展のための準備作	秋田県 鹿角市 湯瀬
24	冬の旅	1989	本制作	秋田県 鹿角市 湯瀬
25	雪降る町	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 京の町
26	年暮る	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 京の町
27	聖夜	1994	本制作	ドイツ南部
ドイツ・オーストリアの旅				
28	ステンドグラス	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ヴィーンハウゼン
29	白馬亭	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア メルン
30	静かな町	1971	本制作	ドイツ ヴィムプヘン
31	絵のある窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ベルヒテスガーデン
32	夕かげ	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ
33	ザルツブルクの看板	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア ザルツブルク

No.	作品名	制作年	分類	取材地
34	石の窓	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ネルトリンゲン
35	坂道の家	1969	連作「古都を描く」習作	オーストリア クレームス
36	森の幻想	1969	連作「古都を描く」習作	オーストリア
37	霧氷の譜小下図 A	1985	改組第17回日展のための準備作	ドイツ北部 乗鞍山頂
38	霧氷の譜小下図 B	1985	改組第17回日展のための準備作	ドイツ北部 乗鞍山頂
39	霧氷の譜	1985	本制作	ドイツ北部 乗鞍山頂
白い馬の見える風景				
40	曠野	1972	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県
41	荒寥	1972	連作「白い馬の見える風景」習作	山梨県御坂 河口湖町 御坂峠
日展準備作				
42	白い朝小下図	1980	改組第12回日展のための準備作	千葉県 市川市
43	白い朝大下図	1980	改組第12回日展のための準備作	千葉県 市川市
北欧風景				
44	白樺の丘	1962	北欧風景スケッチ	スウェーデン レトヴィック
45	雪原譜	1963	北欧風景習作	ノルウェー ハルダンゲル高原
46	内庭	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク リーベ
47	静晨	1994	本制作	長野県 長野市 芋井
48	ベルゲンの家	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー
49	波止場の家	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー
唐招提寺御影堂障壁画準備作				
50	朝雲	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作山スケッチ	
51	深山の樹	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作山スケッチ	
52	波頭	1973	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作海スケッチ	
53	陽朔奇観	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 桂林
54	桂林山水	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」習作	中国 桂林
55	柳樹 C	1976～1977	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	中国 揚州
56	柳樹 A	1976～1977	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作スケッチ	中国 揚州
57	雨中飛泉	1978	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「黃山白雲」スケッチ	中国 黄山
58	山霧幽玄	1978	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「黃山白雲」スケッチ	中国 黄山
59	奇峰松韻	1978	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「黃山白雲」スケッチ	中国 黄山
60	岩の峰	1978	第二期唐招提寺障壁画のための準備作「黃山白雲」スケッチ	中国 黄山
詩画集『コンコルド広場の椅子』				
61	コンコルド広場の椅子表紙	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
62	コンコルド広場の椅子1	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
63	コンコルド広場の椅子2	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
64	コンコルド広場の椅子3	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
65	コンコルド広場の椅子4	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
66	コンコルド広場の椅子5	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
67	コンコルド広場の椅子6	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
68	コンコルド広場の椅子7	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
69	コンコルド広場の椅子8	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
70	コンコルド広場の椅子9	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
71	コンコルド広場の椅子10	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
72	コンコルド広場の椅子11	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
73	コンコルド広場の椅子12	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
74	コンコルド広場の椅子13	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
75	コンコルド広場の椅子14	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
76	コンコルド広場の椅子15	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
77	コンコルド広場の椅子16	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
78	コンコルド広場の椅子17	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ
79	コンコルド広場の椅子18	1976	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	フランス パリ

灰色の霧

平成26年度の最終第Ⅵ期となる「灰色の霧」では、《春兆》を中心に春へと向かう自然の生命力と、《静唱》などを中心に静かな自然の美しさをお楽しみいただいた。

- 会期 平成26年2月13日(金)～4月7日(火) (47日間)
- 会場 東山魁夷館
- 観覧料 大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- イベント おしゃべりさんぽ
2月21日(土)、3月7日(土)、3月21日(土)
各回とも11:00～(30分程度)
- 入館者数 4,256人(有料:3,545人、無料:711人)
※3/22現在
- 担当者 学芸員 伊藤羊子・松浦千栄子



No.	作品名	制作年	分類	取材地
東北・信州の旅スケッチ				
1	横手にて	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	秋田県 横手
2	寒風	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	
3	冬の海辺	1940～1945	東北・信州の旅スケッチ	
4	山霊	1987	本制作	長野県 岐阜県 安房峠
北欧風景				
5	極北の湖	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー
6	ラブランドにて	1962	北欧風景スケッチ	スウェーデン ラブランド
7	ハルダンゲル高原	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー ハルダンゲル高原
8	ノルウェーの春	1962	北欧風景スケッチ	ノルウェー ヴルヴィック
9	早春のディアハーヴェン	1962	北欧風景スケッチ	デンマーク ディアハーヴェン
京洛四季				
10	雪の後	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 中川付近
11	土塀	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 天竜寺
12	壬生狂言	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 壬生寺
13	二條城の石垣	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 二条城
14	砂紋	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都市 大徳寺大仙院
15	桂の敷石	1964～1966	連作“京洛四季”スケッチ	京都府 桂離宮
16	曙	1964～1966	連作“京洛四季”習作	京都府 比叡山
ドイツ・オーストリア				
17	ホルシュテン門の窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ リューベック
18	ホテル・太陽	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ヴィムプヘン
19	鐘のある窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ
20	窓	1971	本制作	ドイツ ローテンブルク
21	ネルトリンゲンの町	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ネルトリンゲン
22	石の窓	1971	本制作	ドイツ ネルトリンゲン
23	家並	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ
24	ローテンブルクの泉	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	ドイツ ローテンブルク
25	酒場の看板	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア
26	裏窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア
27	並ぶ窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア
28	酒場のしるし	1969	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	オーストリア クレームス
29	ツェレの家	1969	連作「古都を描く」習作	ドイツ ツェレ
白い馬が見える風景				
30	早春の丘	1972	連作“白い馬が見える風景”習作	山梨県 御坂町 河口湖町 御坂峠
31	春を呼ぶ丘	1972	連作“白い馬が見える風景”習作	北海道
大和春秋				
32	霧の朝	1973～1985	大和春秋習作	奈良県 春日大社
33	夕べの塔	1973～1985	大和春秋スケッチ	奈良県 興福寺
34	雪の春日野	1973～1985	大和春秋習作	奈良県 春日野
35	室生暮雪	1973～1985	大和春秋習作	奈良県 室生寺

No.	作品名	制作年	分類	取材地
たにま準備作				
36	たにまスケッチ A	1953	第9回日展のための準備作	山梨県 御坂町 - 河口湖町 御坂峠
37	たにまスケッチ B	1953	第9回日展のための準備作	長野県 山ノ内町 上林温泉
38	たにまスケッチ C	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
39	たにまスケッチ D	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
40	たにまスケッチ E	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
41	たにま小下図	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
42	たにま大下図 A	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
43	たにま大下図 B	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
44	たにま大下図 C	1953	第9回日展のための準備作	長野県 野沢温泉村
日展準備作				
45	静唱スケッチ A	1981	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園
46	静唱スケッチ B	1981	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園
47	静唱スケッチ C	1981	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園
48	静唱小下図	1981	改組第13回日展のための準備作	フランス パリ ソー公園
49	静唱	1981	本制作	フランス パリ ソー公園
50	春兆小下図 A	1982	改組第14回日展のための準備作	デンマーク コペンハーゲン
51	春兆小下図 B	1982	改組第14回日展のための準備作	デンマーク コペンハーゲン
52	春兆	1982	本制作	デンマーク コペンハーゲン
大地悠々				
53	天安門遠望	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 北京
54	端門暮色	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 北京
55	故宮良夜	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 北京
56	胡同俯瞰	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 北京
57	大寨開墾	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 山西省 大寨村
58	農村所見	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国
59	桂林の月	1976	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	中国 桂林
『新潮』表紙				
60	1月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
61	2月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
62	3月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
63	4月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
64	5月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
65	6月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
66	7月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
67	8月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
68	9月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
69	10月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
70	11月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
71	12月号表紙	1959	雑誌『新潮』表紙原画	
カットその他				
72	『森と湖の国』表紙原画	1963	カット・その他	
73	『馬車よゆっくり走れ』カット	1971	カット・その他	
74	川端康成著『天授の子』箱装画	1975	カット・その他	
75	「森と湖の国」カット	1963	カット・その他	
76	「北欧」カット	1963	カット・その他	
77	「片腕」函装画	1965	カット・その他	
78	京洛四季ポスター原画	1969	カット・その他	
79	波卓布原画	1970	カット・その他	
80	「馬車よゆっくり走れ」函装画	1971	カット・その他	
81	日展画集表紙装画	1973	カット・その他	
82	舞鶴草小風呂敷原画	1975	カット・その他	
83	「野草」カット	1977	カット・その他	
84	「大和春秋」カット	1985	カット・その他	

長野県信濃美術館移動展



平成26年度

長野県信濃美術館移動展

2014年10月11日(土)～10月21日(火)

開館時間 9:00～16:30/全期中無休

青木村郷土美術館

〒386-1603 中根郡青木村大字信濃2051-1

2014年10月25日(土)～11月3日(月・祝)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで) / 10月27日(月) 休館

北アルプス展望美術館(池田町立美術館)

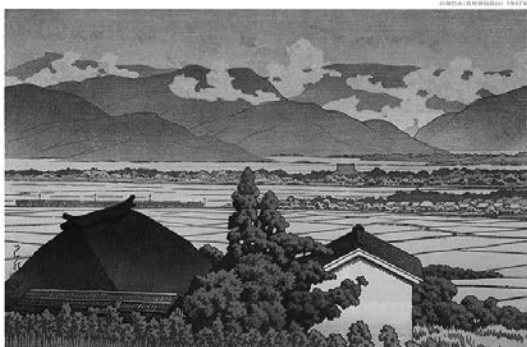
〒399-8602 美濃郡池田町大字信濃7782

観覧料 大人300(200)円/大学生150(100)円/高校生以下無料

※1 12歳以上の児童・生徒は別途料金/障がい者同伴料 障がい者1名につき1名まで無料

問合せ先 青木村 Tel.0268-49-3838 池田町 Tel.0261-62-6600 長野県信濃美術館 Tel.026-232-0052

主催 長野県 長野県信濃美術館 青木村 青木村教育委員会 池田町 池田町教育委員会



- 会場
- ①青木村 (会場) 青木村郷土美術館
(会期) 平成26年10月11日(土)～10月21日(火) (11日間)
(内容) 油彩・水彩・写真・版画・彫刻・複製画等
計37点
 - ②池田町 (会場) 北アルプス展望美術館(池田町立美術館)
(会期) 平成26年10月25日(土)～11月3日(月) (9日間)
(内容) 油彩・水彩・写真・版画・彫刻・複製画等
計37点
- 主催等
- ①青木村 (主催) 長野県、長野県信濃美術館、青木村、青木村教育委員会
 - ②池田町 (主催) 長野県、長野県信濃美術館、池田町、池田町教育委員会
- 観覧料
- 大人300(200)円、大学生200(100)円、高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金、その他割引制度
- イベント
- ①青木村
 - ・美術館協力員研修会
10月5日(日) 13:30～15:00 参加人数 6名
 - ・ワークショップ
「東山魁夷とコラボレーション! 季節を感じる立体絵画を作ろう」
10月11日(土) 13:30～15:00 参加人数 20名
 - ②池田町
 - ・美術館協力員研修会
10月24日(金) 13:30～15:00 参加人数 12名
 - ・ワークショップ
「東山魁夷とコラボレーション! 季節を感じる立体絵画を作ろう」
10月26日(日) 13:30～15:00 参加人数 17名
- 入館者数
- 1) 青木村郷土美術館 299人(有料140人、無料159人)
 - 2) 北アルプス展望美術館(池田町立美術館) 293人(有料203人、無料90人)
計 592人(有料343人、249人)
- 担当者
- 学芸員 高田紫帆

長野県信濃美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞してもらうため、各地市町村で開催する移動展覧会。

“信州ミニツアー”をサブテーマとし、長野ならではの雄大な自然や風物詩などを描いた収蔵品を中心に紹介した。また、開催地域ゆかりの作家の特集コーナーも設けた。



青木村郷土美術館



北アルプス展望美術館(池田町立美術館)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ (cm)	青木 村	池田 町
信州ミニツアー							
長野の景勝地							
1	川瀬巴水	信州木崎湖	1941	木版、紙	24.3×36.5	○	○
2	川瀬巴水	長野県稲荷山	1947	木版、紙	24.4×36.4	○	○
3	刑部人	姨捨枝垂桜	1977	油彩、カンヴァス	80.5×100.0	○	○
4	小山周次	松本城	1957	水彩、紙	38.2×56.0	○	○
5	小山周次	御牧ヶ原農地	不詳	水彩、紙	37.7×56.6	○	○
6	西山真一	初夏の穂高	1980	油彩、カンヴァス	72.7×90.9	○	○
7	樽見盛衛	安曇野冬景	1990	油彩、カンヴァス	91.0×116.0	○	○
8	松木重雄	白馬連峯	1980	油彩、カンヴァス	65.1×80.6	○	○
9	吉田博	乗鞍岳	1920	油彩、カンヴァス	45.2×60.4	○	○
10	江藤純平	妙高高原	1973	油彩、カンヴァス	112.1×145.5	○	○
11	田村一男	初秋(霧ヶ峰高原七島八島)	1967	油彩、カンヴァス	89.5×145.5	○	○
12	不破章	上高地坂巻温泉	1962	水彩、紙	38.0×57.2	○	○
13	笠松紫浪	信州白骨温泉	1935	木版、紙	36.2×24.1	○	○
14	笠松紫浪	温泉の朝(信州野沢)	1933	木版、紙	36.3×24.2	○	○
長野の風物詩							
15	須山計一	遠山の湯立祭	1967	油彩、カンヴァス	73.0×91.5	○	○
16	須山計一	諏訪大社田植え祭り	1964	油彩、カンヴァス	73.0×91.5	○	○
17	山下大五郎	安曇野田植え	1979	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	○	○
18	不破章	農婦	1961	水彩、紙	69.9×105.5	○	○
19	小山周次	林檎の花と牛小屋	1957	水彩、紙	56.2×75.5	○	○
20	矢崎重信	『信濃の子供』原画3 十四日歳	1943	水彩、紙	28.5×38.5	○	○
21	矢崎重信	『信濃の子供』原画10 繭かき	1943	水彩、紙	28.5×38.5	○	○
22	矢崎重信	『信濃の子供』原画17 七夕祭り	1943	水彩、紙	28.5×38.5	○	○
23	矢崎重信	『信濃の子供』原画21 白馬岳の 稲抜き	1942	水彩、紙	28.5×38.5	○	○
開催地域ゆかりの画家							
中信ゆかり							
24	奥田郁太郎	とり入れのあと	1980	油彩、カンヴァス	72.7×90.6	○	○
25	中村善策	白秋(木崎湖尻農具川)	1972	油彩、カンヴァス	112.1×145.5	○	○
26	小林邦	水車	1940	油彩、カンヴァス	91.0×116.7	○	○
27	荻原守衛(碌山)	坑夫	1907	ブロンズ	h 47.0	○	○
東信ゆかり							
28	小山周次	南瓜と甘藷	1946	水彩、紙	33.0×52.5	○	○
29	神津港人	窓辺	1914	油彩、カンヴァス	72.8×53.0	○	○
30	中村直人	大原女	1955	ガッシュ、紙	72.7×60.0	○	○
31	ハリー・K. シゲタ	凝視	1930	モノクロームプリント	39.8×50.7	○	○
32	ハリー・K. シゲタ	時間 空間 形態	1940	モノクロームプリント	49.7×38.4	○	○
33	松井康成	クレイ画	1993	陶芸	39.0×46.0	○	○
34	松井康成	クレイ画	1993	陶芸	32.5×23.0	○	○
東山魁夷							
35	東山魁夷	夕星	本制作：1999	新復刻画	42.3×60.6	○	○
36	東山魁夷	行く秋	本制作：1990	新復刻画	38.0×53.0	○	○
37	東山魁夷	緑響く	本制作：1982	新復刻画	42.3×60.6	○	○

教育普及事業 2015.3.現在

1 おもしろ美術講座（出張講座）

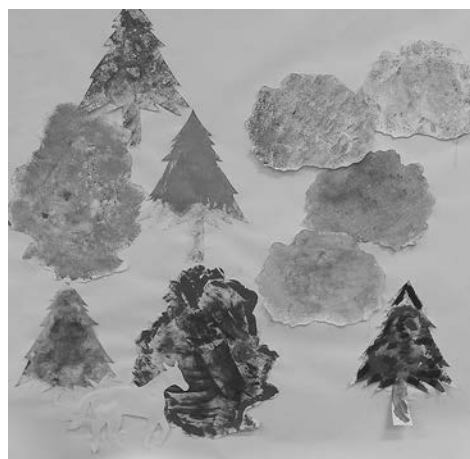
参加者：438人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/9	長野市もんぜんプラザ 「美術館へ行こう・学ぼう」 担当：伊藤羊子	一般	25
2	5/14	中部公民館 「東山魁夷と信州」 担当：伊藤仁美	一般	43
3	6/13	長野市もんぜんプラザ 目からウロコの芸術探求講座 「美術館へ行こう・学ぼう」 担当：伊藤羊子	一般	30
4	6/14	長野県カルチャーセンター 「信州が生んだ美術家群像」 担当：渡辺美保	一般	20
5	6/27	長野市もんぜんプラザ ぶらり芸術散歩「没後70年 池上秀畝・島崎鶏二」 担当：石井絵美	一般	20
6	6/27	宮田村民会館 第3回駒ヶ根福祉セミナー アート教室 「世界に一つだけのパフェをつくろう」 担当：高田紫帆	一般	23
7	7/11	長野市もんぜんプラザ 目からウロコの芸術探求講座 「美術館へ行こう・学ぼう」 担当：伊藤羊子	一般	30
8	7/19	駒ヶ根高原美術館 特別展「信州のアール・ブリュット」 ギャラリートーク 「アール・ブリュットの可能性について」 担当：伊藤羊子	一般	50
9	7/24	西洋料理店もりたろう内はっぱカフェ ギャラリートークイベント「生の芸術を語る」 担当：伊藤羊子	一般	40
10	7/25	長野市もんぜんプラザ 「日本画っておもしろい！ニホンガ研究会」 担当：渡辺美保	一般	20
11	8/2	キッセイ文化ホール 「東山と信州」 担当：伊藤羊子	一般	70
12	8/8	千曲市東部児童センター 「世界にひとつだけのパフェをつくろう！」 担当：松浦千栄子	小学	37
13	8/9	長野駅ビル MIDORI 長野カルチャーセンター 「信州が生んだ美術家群像 山に魅せられた画家たち」 担当：伊藤羊子	一般	30

参加者：355人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
14	8/22	長野市もんぜんプラザ ぶらり芸術散歩「涼みの工芸・アートゲーム」 担当：石井絵美	一般	17
15	9/12	長野市もんぜんプラザ 目からウロコの芸術探求講座 「美術館へ行こう・学ぼう」 担当：伊藤羊子	一般	30
16	9/13	長野市加茂こどもプラザ 「スイーツデコ〜世界に一つだけのパフェをつくろう」 担当：石井絵美	一般	56
17	9/21	長野市サンアップル 「人間国宝 松井康生の技法に挑戦！」 担当：高田紫帆	こども・大人	21
18	9/26	長野市もんぜんプラザ ぶらり芸術散歩「東山魁夷館 常設展」	一般	30
19	10/10	長野市もんぜんプラザ 目からウロコの芸術探求講座 「美術館へ行こう・学ぼう」 担当：伊藤羊子	一般	35
20	10/24	長野市もんぜんプラザ ぶらり芸術散歩「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」 担当：木内真由美	一般	28
21	10/25	キッセイ文化ホール 「学芸員と行く東山魁夷ゆかりの地パステアール」 担当：伊藤羊子	一般	15
22	11/13	城山公園・信濃美術館周辺 「野外彫刻めぐり」 担当：大日方悦夫	一般	29
23	11/14	長野市もんぜんプラザ 目からウロコの芸術探求講座 「美術館へ行こう・学ぼう」 担当：伊藤羊子	一般	30
24	11/28	長野市もんぜんプラザ ぶらり芸術散歩「生誕百年 高橋節郎」 担当：渡辺美保	一般	20
25	12/7	伊那文化センター 「オリジナルクリスマスカードづくり」 担当：松浦千栄子	一般	14
26	2/14	長野駅ビル MIDORI 長野カルチャーセンター 「信州が生んだ美術家群像 信州に疎開した作家たち」 担当：伊藤羊子	一般	30

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/8	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：「緑の樫の木」/ 作品：《緑響く》複製画 制作：シャボン玉の泡やスポンジなどを用いて、絵具で緑の森を作り、オリジナルの“白い馬の見える風景”を制作 担当：高田紫帆	小中	4
2	5/22	県立こども病院院内学級 テーマ：「緑の樫の木」/ 作品：《緑響く》複製画 制作：シャボン玉の泡やスポンジなどを用いて、絵具で緑の森を作り、オリジナルの“白い馬の見える風景”を制作 担当：高田紫帆	小中	5
3	6/17	長野養護学校 中学部3年 「思い出の街をつくろう」 担当：石井絵美	中学	28
4	6/18	長野養護学校 中学部3年 「思い出の街をつくろう」 担当：石井絵美	中学	28
5	7/24	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：マーブリングに挑戦 / 作品：《白馬の森》複製画 制作：マーブリング技法で色と模様の世界に親しむ。 担当：高田紫帆	小中	3
6	8/7	県立子供病院院内学級 テーマ：マーブリングに挑戦 / 作品：《白馬の森》複製画 制作：マーブリング技法で色と模様の世界に親しむ。 担当：高田紫帆	小中	9
7	11/17	県立子ども病院院内学級 テーマ：「人間国宝 松井康成の技法に挑戦！」 鑑賞：松井康成陶片 制作：技報の一つ、練上手を体験しオリジナル作品を制作 担当：高田紫帆、木内真由美、梨本有見	小中	12
8	11/27	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：「人間国宝 松井康成の技法に挑戦！」 鑑賞：松井康成陶片 制作：技報の一つ、練上手を体験しオリジナル作品を制作 担当：高田紫帆、木内真由美、梨本有見	小中	3
9	1/29	県立子供病院院内学級 テーマ「うつる 東山魁夷の構図に挑戦！」 鑑賞：《二つの月》東山魁夷 制作：カード(カガミ) 担当：木内真由美、梨本有見	小中	9
10	2/5	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ「うつる 東山魁夷の構図に挑戦！」 鑑賞：《二つの月》東山魁夷 制作：カード(カガミ) 担当：梨本有見	小中	3
おでかけ美術館報告展(平成27年2月5日～2月17日)				



院内学級 成果物①

東山魁夷《緑の樫の木》をテーマとした立体絵画



院内学級 成果物②

マーブリング技法で色と模様の世界に親しむ



院内学級 成果物③

「人間国宝 松井康成の技法に挑戦！」

3 やねうら美術館講座・展覧会関連 WS・善光寺門前プロジェクト

参加者：179人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
	4/19	放浪の天才画家 山下清展 ワークショップ「キラキラの貼絵に挑戦！善光寺平の空に花火を打ち上げよう」 担当：高田紫帆、伊藤仁美、松浦千栄子	こども ・ 大人	18
	4/20	放浪の天才画家 山下清展 ワークショップ「キラキラの貼絵に挑戦！善光寺平の空に花火を打ち上げよう」 担当：高田紫帆、伊藤仁美、松浦千栄子	こども ・ 大人	22
1	8/1～3	真夏のやねうら美術館講座 「ミニミニ金屏風をつくろう」 自由参加	こども ・ 大人	カウント せず
2	8/3	真夏のやねうら美術館講座 「ミニミニ金屏風をつくろう」 担当：石井絵美、松浦千栄子	こども ・ 大人	8

3	6/14	善光寺門前プロジェクト 善光寺びんずる市ワークショップ 「善光寺ゆかりの「布引牛」をつくろう！」 講師：田嶋健氏(美術家・佐久市出身)	こども ・ 大人	86
4	10/11	善光寺門前プロジェクト 善光寺びんずる市ワークショップ 「樹脂ねんどで「オリジナル和菓子」をつくろう」 講師：小山紗地穂氏(和菓子店店主・長野市出身)	こども ・ 大人	45
5	2/14	美術館でおしゃべりしよ！展関連 WS 「みゆゼコン」 講師：高木こずえ氏(写真家)	一般	42
やねうら美術館報告展(平成27年2月5日～2月17日)				



4/19 山下清展関連 WS の様子



8/3 真夏のやねうら美術館講座
「ミニミニ金屏風をつくろう！」①



6/14 善光寺びんずる市 WS の様子
「善光寺ゆかりの「布引牛」をつくろう」の様子①



6/14 善光寺びんずる市 WS の様子
「善光寺ゆかりの「布引牛」をつくろう」の様子②



10/11 善光寺びんずる市 WS の様子
「樹脂ねんどで「オリジナル和菓子」をつくろう！」の様子①



2/14 美術館でおしゃべりしよ！展関連 WS「みゆゼコン」
の様子

4 展覧会関連

参加者：2,388人

No.	事業名／実施回数	参加者数
1	企画展ギャラリートーク／21回	267
2	企画展特別講座(講演会、ワークショップ、研修会等)／15回	601
3	一般団体への解説／51回	1310
4	おしゃべり散歩／24回	210



5 学校との連携事業

参加者：3,159人

おしゃべり散歩の様子

信州大学×長野県信濃美術館コラボ展
ギャラリートーク特別篇の様子

No開催日	事業名(実施内容)	対象	参加者数
1	学校の鑑賞活動受入 (県内外小・中・高・特別支援・大学等) 78件		2,401
2	学校および社会教育施設との連携活動		758
①	信州大学教育学部図画工作基礎(担当：信州大学小野文子准教授) 「美術館における鑑賞教育の実践について」 担当：伊藤羊子	大学	31
②	長野県短期大学教養美術(担当：信州大学小野文子准教授) 「美術館における鑑賞教育の実践について」 担当：伊藤羊子	短大	76
③	信州大学美術教育ゼミ新入生研修 「美術館における鑑賞教育の実践について」 担当：石井絵美	大学	18
④	信州大学教育学部図画工作基礎(担当：信州大学小野文子准教授) 「信州大学×長野県信濃美術館コラボ展で学生作成のワークシート実践」	大学	31
⑤	長野県短期大学教養美術(担当：信州大学小野文子准教授) 「信州大学×長野県信濃美術館コラボ展見学」	短大	76
⑥	裾花小学校1学年・6学年 教員研修会 「アートゲーム、造形体験(いただきますにセコロッケ、たこ焼きをつくろう)」 担当：伊藤羊子・渡辺美保	教員	31
⑦	西武中学校研修会 「アートカード、造形体験(いただきますにセコロッケ)」 担当：石井絵美	教員	30
⑧	日本教育協会長野県支部青年部保育士研修会 「アートゲーム、造形体験(ミニミニ金屏風をつくろう)」 担当：石井絵美	教員	19
⑨	長野県高齢者作品展受賞作品展展示会(ロビー展示)	カウントせず	
⑩	信州大学教育学部美術教育分野卒業記念展覧会 (ロビー展示)	カウントせず	

No開催日	事業名(実施内容)	対象	参加者数
⑪	長野県障がい者文化芸術祭優秀作品展 (ロビー展示)	カウントせず	
⑫	長水教育研究集会(図画工作) 「教科書と連動した美術館の活用について、造形体験(ミニミニ金屏風をつくろう)」 担当：伊藤羊子、松浦千栄子、土屋晴佳	教員	4
⑬	長野上水内教育課程研究協議会(図画工作) 「教科書と連動した美術館の活用について、アートゲーム」 担当：伊藤羊子、木内真由美、松浦千栄子、土屋晴佳	教員	65
⑭	長野上水内教育課程研究協議会(図画工作) 「教科書と連動した美術館の活用について、アートゲーム」 担当：伊藤羊子	教員	33
⑮	第9回東京都図画工作研究会・長野県美術教育研究会合同研修会 「長野県信濃美術館の活動報告・アートゲーム(なりきりゲーム)」 担当：伊藤羊子、松浦千栄子、梨本有見、土屋晴佳	教員	39
⑯	信州大学教育学部集中講義生涯学習概論Ⅱ (担当：信州大学非常勤講師・秋田大学 原義彦准教授) 「信濃美術館の活動について・アートゲーム」 担当：木内真由美、梨本有見	大学	20
⑰	城山小学校 4年生、3年生親子レクリエーション 東山魁夷館対話型鑑賞・ワークシート、造形体験(ミニミニ金屏風をつくろう) 担当：石井絵美、松浦千栄子	小学・大人	121
⑱	信州大学附属長野小学校1年生、2年生親子レクリエーション 東山魁夷館対話型鑑賞・造形体験(うつる・東山魁夷の技法に挑戦(カガミ)) 担当：土屋晴佳、梨本有見	小学・大人	142
⑲	長野アートチャレンジ教室 「生誕100年高橋節郎展鑑賞・造形体験(金屏風・高橋節郎の技法に挑戦)」 担当：松浦千栄子、渡辺美保、梨本有見	こども・大人	22



親子レクリエーションの様子



学校見学の様子②



教員研修会の様子①



教員研修会の様子②
アートゲーム

6 博物館実習等研修受入

受入者数：22人

No.	日程	事業内容(学校・団体名)	
①	博物館実習(7/31～8/5)	大東文化大学(1)、信州大学(5)、成安造形大学(1)、青山学院大学(1)、明治学院大学(1)	9
②	職場体験(中学生対象)		
	7/1・3～4	信州大学附属中学校	1
	10/9・10	長野市立北部中学校	5
	10/9・10	長野市立櫻ヶ岡中学校	5
③	ジュニア・インターンシップ(高校生対象)		
	7/31、8/1	長野県北部高校	1
	7/31、8/7～10	長野県松本筑摩高校	1



おもしろ美術講座
クリスマスカードづくりの様子



日本画展 トークショーの様子



マンガのちから展 ワークショップの様子



職場体験の様子



博物館実習の様子



野外彫刻めぐりの様子



長野県高齢者作品展受賞作品展示会の様子



千曲市東部児童センター
「世界にひとつだけのパフェをつくろう」講座の様子

7 造形作品等の貸出

No.	事業名／貸出先	貸出数：12件
1	木の造形作品の貸出 長野養護学校	
2	長野版アートゲームの貸出	
①	長野県穂高商業高校	
②	駒ヶ根市立赤穂小学校	
③	長野市立山陽中学校	
④	東御市立滋野小学校	
⑤	長野大橋保育園	
⑥	松本市立高綱中学校	
⑦	長野市三陽中学校	
⑧	長野市立裾花小学校	
⑨	長野県松本ろう学校	
⑩	小布施町立栗が丘小学校	
⑪	長野市鍋屋田小学校	

8 ギャラリーコンサート 参加者：220人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	12/24	平成26年度長野県信濃美術館 東山魁夷館ギャラリーコンサート 演奏者：傳田高廣(クラリネット) 傳田絵里(ピアノ)	一般	220



12/14 ギャラリーコンサートの様子

9 コンサート（善光寺門前研究プロジェクト）参加者：29人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	2/9	『原かれん、高木こずえ「SUZU」を奏でる！』 演奏者：原 香恋(チェリスト) 画 像：高木こずえ(写真家) 場 所：楽茶レンガ館	一般	29



10 みんなでカワイ！東山魁夷リトグラフ展示（善光寺門前研究プロジェクト）

No.	開催日	事業内容、場所、担当
1	3/7～3/31	東山リトグラフ作品19点展示 場所：MIDORI 長野りんごの広場



収蔵作品貸出

主催者等	展覧会名称			展覧会会期
北アルプス展望美術館		開館20周年「日本の原風景と奥田郁太郎展」		平成26年4月26日(土)～7月21日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
1	中村琢二	木曽路	1964	油彩、カンヴァス
2	中村善策	丘の春	1952	油彩、カンヴァス
3	奥田郁太郎	とり入れのあと	1980	油彩、カンヴァス
4	小山敬三	冬之浅間山	1967	油彩、カンヴァス
名古屋市美術館		「挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち」		平成26年7月5日(土)～8月24日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
5	東山魁夷	石の窓	1971	紙本彩色
府中市美術館 兵庫県立美術館		「東京・ソウル・台北・長春―官展にみる近代美術」展		府中：平成26年5月14日(水)～6月8日(日) 兵庫：平成26年6月14日(土)～7月21日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
6	池上秀畝	秋雨	1932	絹本彩色
水野美術館		「近代日本画にみる さくら展」		平成26年4月26日(土)～6月1日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
7	西郷孤月	桜山鳩	不詳	絹本彩色
諏訪市美術館		「諏訪―この土地と人へのまなざし」		平成26年7月19日(土)～9月21日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
8	高木こずえ	tsuki	2011	タイプC プリント
9	高木こずえ	ki	2011	タイプC プリント
10	高木こずえ	sajiki	2011	タイプC プリント
佐賀県立美術館		「岡田三郎助―エレガンス・オブ・ニッポン」		平成26年9月19日(金)～11月16日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
11	岡田三郎助	信濃の春	1922	油彩、カンヴァス、寄託品
東京国立近代美術館		「菱田春草展」		平成26年9月23日(火・祝)～11月3日(月・祝)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
12	菱田春草	常磐津 伏姫	1900	絹本彩色
13	菱田春草	羅浮仙	1901頃	絹本彩色
14	菱田春草	雄快(海岸怒涛)	1902	絹本彩色
15	菱田春草	乳糜供養	1903頃	絹本彩色
16	横山大観	釈迦と魔女	1903頃	絹本彩色
17	菱田春草	夕陽	1903	絹本彩色、寄託品
上田市立美術館		開館記念展「山本鼎のすべて」		平成26年10月2日(木)～11月9日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
18	山本鼎	淡水のエゲリース	1938	油彩、カンヴァス
19	山本鼎	海	1940	油彩、カンヴァス
20	山本鼎	白菜と赤蕨	1937	油彩、カンヴァス
徳島県立文学書道館		書道特別展 小坂奇石と川村驥山―「線の行者・奇石」と「酒仙・驥山」の書―		平成26年10月4日(土)～11月12日(水)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
21	川村驥山	詠信州山水	1961	紙本墨書
22	川村驥山	蘭亭序・帰去来辞	1947	紙本墨書
23	川村驥山	醉古堂劍掃語・謝在杭語	1950	紙本墨書
24	川村驥山	金剛石	1954	紙本墨書
市川市東山魁夷記念館		「東山魁夷と東京美術学校有志―橋本明治・加藤榮三・山田申吾」展		平成26年10月11日(金)～11月30日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
25	東山魁夷	祭りの夜		
富山県水墨美術館		「あつまれ墨画アーティスト―点からはじまる墨の世界」		平成26年10月31日(金)～12月14日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
26	諏訪部直亨	青山万里図	1939	紙本墨画
27	児玉三鈴	松岡	1968	紙本墨画
栃木県立美術館		「河野次郎と明治・大正の画人ネットワーク」		平成27年1月10日(土)～3月22日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
28	河野次郎	長野郊外	1892	油彩、カンヴァス
29	河野通勢	三人の乞食	1916	油彩、カンヴァス
笠岡市立竹喬美術館		「没後60年 菊地契月展」		平成27年1月31日(土)～3月15日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
30	菊池契月	寂光院	1902	絹本彩色
31	菊池契月	嫗(春寒)	1914	絹本彩色
32	菊池契月	立女	1924	絹本彩色
33	菊池契月	女	1928	絹本彩色
34	菊池契月	光明皇后	1944	絹本彩色
35	菊池契月	花野	1916	絹本彩色

36	菊池契月	庭の池	1919	絹本彩色
福井県立美術館		東山魁夷と信州ゆかりの作家たち―長野県信濃美術館コレクションより	平成27年2月20日(木)～3月22日(日)	
No.	作家名	作品名	制作年	技法
37	東山魁夷	瀬江暮色	1978	紙本彩色・墨画
38	東山魁夷	夕紅	1996	麻布彩色
39	東山魁夷	沼の静寂	1983	紙本彩色
40	東山魁夷	白馬の森	1972	紙本彩色
41	東山魁夷	白夜	1962	紙本彩色
42	東山魁夷	運河沿いの街	1962	紙本彩色
43	東山魁夷	花明り	1964～1966	紙本彩色
44	東山魁夷	夏に入る	1964～1966	紙本彩色
45	東山魁夷	照紅葉	1964～1966	紙本彩色
46	東山魁夷	年暮る	1964～1966	紙本彩色
47	東山魁夷	ニュールンベルクの窓	1969	紙本彩色
48	東山魁夷	晩鐘	1969	紙本彩色
49	東山魁夷	静かな町	1969	紙本彩色
50	東山魁夷	山雲	1973	紙本彩色
51	東山魁夷	朝濤	1973	紙本彩色
52	東山魁夷	浜に寄せる波	1973	紙本彩色
53	東山魁夷	道	1990	リトグラフィ
54	東山魁夷	山湖遠か	2000	リトグラフ
55	東山魁夷	夕静寂	1999	リトグラフ
56	東山魁夷	行く秋	1995	リトグラフィ
57	東山魁夷	緑の窓	1995	リトグラフィ
58	東山魁夷	地図	1964	オリジナルリトグラフィ
59	東山魁夷	ストックホルムにて	1964	オリジナルリトグラフィ
60	東山魁夷	ベルゲンの家	1964	オリジナルリトグラフィ
61	東山魁夷	オーデンセの古道具屋	1964	オリジナルリトグラフィ
62	東山魁夷	一力	1971	セリグラフィ
63	東山魁夷	三宝院唐門	1971	セリグラフィ
64	東山魁夷	砂紋	1971	セリグラフィ
65	東山魁夷	三玄院露地	1971	セリグラフィ
66	東山魁夷	桂離宮書院	1971	セリグラフィ
67	東山魁夷	冬樹	1963	オリジナルリトグラフィ
68	東山魁夷	湖岸	1979	オリジナルリトグラフィ
69	東山魁夷	枯野	1979	オリジナルリトグラフィ
70	東山魁夷	樹氷	1979	オリジナルリトグラフィ
71	東山魁夷	黄山良夜	1980	オリジナルリトグラフィ
72	東山魁夷	緑響く		新復刻画
73	東山魁夷	冬華	1994	タペストリー
74	奥村土牛	白日(ひまわり)	1949	絹本彩色
75	菊池契月	早苗	1934	紙本彩色
76	神津港人	溪流三女人像	1930	油彩、カンヴァス
77	池上秀畝	四季花鳥(春夏秋冬)	1918	紙本彩色、四幅対
78	富岡永洗	雪月花美人図	不詳	絹本彩色、三幅対
79	伊東深水	御代田の春	1948	絹本彩色
80	西郷孤月	主の救い	1901頃	絹本彩色
81	須山計一	宿駅	1941	油彩、カンヴァス
82	菊池契月	婦女	1930	紙本彩色
83	西郷孤月	瀑布	不詳	絹本彩色、双幅
84	石井柏亭	画室小集	1949	油彩、カンヴァス
85	河野通勢	長野の近郊	1915	油彩、カンヴァス
86	足立源一郎	春の穂高(徳本峠にて)	1973	油彩、カンヴァス
87	梅原龍三郎	浅間山	1957	油彩、グワッシュ、紙
88	中村不折	西洋婦人像	1904頃	油彩、カンヴァス
89	満谷国四郎	野尻湖	1919	油彩、カンヴァス
90	藤島武二	杏花	1933	油彩、カンヴァス
91	安井曾太郎	秋の霞沢岳	1938	油彩、カンヴァス
92	南薫造	山湖初秋	1926	油彩、カンヴァス
93	小糸源太郎	山粧ふ	1956	油彩、カンヴァス
94	小山敬三	暮れゆく浅間	1968	油彩、カンヴァス
95	高田誠	湖畔秋色(信州松原湖畔にて)	1938	油彩、カンヴァス
96	池田満寿夫	洞くつの歌	1956	エッチング アクアチント
97	池田満寿夫	アフリカの女	1956	エッチング アクアチント
98	池田満寿夫	自画像	1964	ドライポイント
99	池田満寿夫	少し長い指を持ったスフィンクス	1970	エッチング ルーレット メゾチント ドライポイント アクアチント
100	池田満寿夫	原始の太陽	1956	エッチング アクアチント
101	池田満寿夫	目のある部屋	1956	エッチング アクアチント
102	池田満寿夫	影	1956	エッチング アクアチント
103	池田満寿夫	ロマンチックな風景	1965	ドライポイント ルーレット エッチング
104	池田満寿夫	夕暮れの森	1974-82	フロッタージュ 水彩
105	池田満寿夫	みだれ髪 エスキース	1977	水彩
106	池田満寿夫	マイブライバシー・タイトル	1978	水彩 フロッタージュ

107	池田満寿夫	ヴォークから来た女	1966	ドライポイント エッチング ビュラン
108	池田満寿夫	独身者の夢・モリスの夢	1966	リトグラフ
109	池田満寿夫	真昼の人々	1955	油彩
110	池田満寿夫	太陽と女	1957	アクアチント ビュラン エッチング
111	池田満寿夫	女・動物たち	1960	ドライポイント アクアチント
112	池田満寿夫	女の肖像	1960	ドライポイント アクアチント
113	池田満寿夫	私を見つめる私	1964	ドライポイント ルーレット
114	池田満寿夫	動物の婚礼	1962	ドライポイント エッチング
115	池田満寿夫	戸口へ急ぐ貴婦人たち	1963	ドライポイント ルーレット
116	池田満寿夫	タエコの朝食	1963	ドライポイント ルーレット エッチング
117	池田満寿夫	化粧する女	1964	ドライポイント ルーレット エッチング
118	池田満寿夫	聖なる手I	1965	ドライポイント ルーレット
119	池田満寿夫	楽園に死す	1965	ドライポイント ルーレット エッチング
120	池田満寿夫	夏の夢	1966	ドライポイント ルーレット ビュラン
121	池田満寿夫	バラはバラ	1966	ドライポイント ルーレット ビュラン
122	池田満寿夫	愛の瞬間	1966	ドライポイント ルーレット ビュラン
123	池田満寿夫	スプリング・アンド・スプリングス	1966	ドライポイント ルーレット
124	池田満寿夫	ブダベストからの自画像	1968	リトグラフ
125	池田満寿夫	SAYOKO (1/5-23)	1977	木炭
126	池田満寿夫	赤と黒	1980	リトグラフ
127	池田満寿夫	陽光のように	1981	ドライポイント アクアチント ソフトグラウンド・エッチング
128	池田満寿夫	サイズはサイズ	1963	ドライポイント ルーレット
129	池田満寿夫	ヴィナス	1975	メゾチント
130	池田満寿夫	人間のすべて -III	1997	リトグラフ
飯田市美術館		菱田春草生誕140年・生誕地公園完成記念特別展「創造の源泉―菱田春草のスケッチ」		平成27年(2015年)3月21日(土)～4月19日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
131	菱田春草	秋夜図	1903頃	絹本彩色
132	菱田春草	羊図	1902	絹本彩色、寄託品
133	菱田春草	四季山水図下図		紙本彩色、寄託品
小金井市立はげの森美術館		企画展「生誕120年 河野通勢と中村研一」展		平成27年(2015年)3月24日(火)～5月24日(日)
No.	作家名	作品名	制作年	技法
134	河野通勢	散策	1912	油彩、カンヴァスボード
135	河野通勢	裾花川の河柳	1915	油彩、カンヴァス
136	河野通勢	自画像	1918	油彩、カンヴァスボード
137	河野通勢	二人花魁	1935	油彩、カンヴァス
138	河野通勢	りんご林	不詳	油彩、カンヴァス
139	河野通勢	柳	1915	油彩、カンヴァスボード
140	河野通勢	裾花川風景	1915	インク、紙
141	河野通勢	代々木にて	1916	インク、紙
142	河野通勢	東京にて	1916	墨、紙
143	河野通勢	少女と植物	1916	インク、紙
144	河野通勢	人物	1916	インク、紙
145	河野通勢	芸術の源泉	1914	インク、紙
146	河野通勢	手袋	不詳	鉛筆、紙
147	河野通勢	屋台小屋	不詳	エッチング、紙
148	河野通勢	上野精養軒臨時食堂	1923	エッチング、紙
149	河野通勢	震災後の風景(武者小路実篤邸跡)	1923	エッチング、紙
150	河野通勢	画帖		紙、鉛筆、墨他
151	中村研一	杏花	1935	油彩、カンヴァス
152	中村研一	緑の中	1959	油彩、カンヴァス
153	中村研一	八ヶ岳	1959	油彩、カンヴァス
154	中村研一	冬の静物	1960	油彩、カンヴァス
155	中村研一	庭の静物	1960	油彩、カンヴァス
156	中村研一	裏浅間	1964	油彩、カンヴァス
157	中村研一	裸体	1965	油彩、カンヴァス
158	中村研一	晩秋戸隠にて	1966	油彩、カンヴァス

その他

新収蔵作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ (cm)
1	飯田昭二	自己投影 1	2007	ミクストメディア (鳥カゴ、石膏による球、鏡)	立体 30×30×H30
2	飯田昭二	自己投影2	2007	ミクストメディア (鳥カゴ、ハイヒール、鏡)	立体 37×37×H37
3	児玉果亭	諏訪部直亭宛書簡	1893	紙本墨書	まくり 31.0×114.0
4	児玉果亭	茂松清泉山中不乏	1901	紙本墨書	軸装 131.0×45.5
5	児玉果亭	芥子園画伝模本	不詳	紙本墨書	画帖 29.5×54.7
6		田能村直入肖像		写真	まくり 13.5×9.3(台紙22.3×14.5)
7		児玉果亭肖像		写真	まくり 13.5×9.3(台紙22.3×14.6)
8		竹仙山房写真(門弟集合写真)		写真(付属品:門弟集合写真説明資料(印刷))	まくり 13.5×9.3(台紙22.3×14.7)
9		『果亭翁画譜』(果亭保存会)	1913	書籍	冊子(仮綴) 26.9×19.3
10		河野通勢関連資料一式(計1,093点)			
11	武田成功	春一葉	不詳	ガラス	立体 35.2×18.7×16.0
12	武田成功	春紅葉	不詳	ガラス	立体 28.0×16.0×12.5
13	武田成功	葛青	不詳	ガラス	立体 25.0×25.0×40.0
14	武田成功	芽の音	不詳	ガラス	立体 26.5×16.0×18.5
15	武田成功	凜花	不詳	ガラス	立体 13.5×11.5×30.0
16	武田成功	花風姿	不詳	ガラス	立体 23.5×18.0×20.0
17	武田成功	萌芽	不詳	ガラス	立体 18.0×12.0×29.0
18	武田成功	春薄氷	不詳	ガラス	立体 38.5×36.5×15.0
19	菊池契月	花野	1916	絹本彩色	六曲一双屏風 各157.6×356.3
20	菊池契月	庭の池	1919	絹本彩色	六曲一双屏風 各179.1×377.8
21	矢沢弦月	新秋～山～	1920	絹本彩色	軸装 215.0×100.5
22	矢沢弦月	新秋～里～	1920	絹本彩色	軸装 215.0×115.0
23	町田曲江	朝顔図	1943	紙本彩色	軸装 63.5×70.5
24	神津港人	仙女曼荼羅	1958	油彩・カンヴァス	額装 180×270
25	神津港人	夏(いんこ鳥)	1929	油彩・カンヴァス	額装 77.8×81.0
26	神津港人	不詳	不詳	紙本銀地油彩	二曲一隻屏風 152.3×151.4

平成25年度長野県信濃美術館協議会

日 時 平成26年7月14日(月) 13:30
場 所 長野県信濃美術館 講堂(本館3階)
内 容 (1) 指定管理施設の管理運営状況について
(2) 平成25年度事業実施状況について
(3) 平成26年度事業実施計画について
(4) その他

モニター会議

名 称 第1回モニター会議
日 時 平成26年7月19日(土) 13:30～
場 所 長野県信濃美術館 講堂(本館3階)
内 容 アンケートをもとに
「信濃美術館に対するイメージ・好きな美術館について」をテーマとした意見交換

名 称 第2回モニター会議
日 時 平成27年2月28日(土) 13:30～
場 所 長野県信濃美術館 講堂(本館3階)
内 容 展覧会報告を受けて
「信濃美術館でどのような展覧会が見たいか・あなたが考える理想の美術館について」をテーマとした意見交換

利用案内

施設名称 長野県信濃美術館 東山魁夷館
所在地 〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4（善光寺東隣城山公園内）
お問合せ TEL.026-232-0052 FAX.026-232-0050
開館時間 9：00-17：00（入館は16：30まで）
休館日 毎週水曜日（祝日休日は開館）、年末年始（12月28日-1月1日）
※展示替え、メンテナンスなどにより臨時に休館する場合があります。

観覧料

	大人	大学生	高校生以下
企画展	観覧会ごとに異なります		
長野県信濃美術館 東山魁夷館 常設展	500(400)円	300(200)円	無料

- *（ ）内は、20名以上の団体割引料金です。
- *身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳をお持ちの方は、当館主催の観覧会の観覧料が減免されます。

平成26年度 年間パンフレット



長野県信濃美術館 東山魁夷館
2014.4 - 2015.3
展覧会案内



長野県信濃美術館
展覧会案内



日本画っておもしろい!
二色二色研究会 (第1・第2回)



信州大学×長野県信濃美術館コラボ展
7/12(土) - 8/24(日)



東山魁夷館
展覧会案内

長野県信濃美術館

● 平成26年度

館報 No. 17

編集・発行 長野県信濃美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4

TEL026-232-0052

FAX026-232-0050

印刷 中外印刷株式会社

発行日 平成27（2015）年3月31日

